SHIMANE UNIVERSITY

Profile Of Shimane University

島根大学
大学概要
2014-2015

国立大学法人 島根大学概要 2014-2015

豊かな感性とタフな心を持ったグローカル人間に!

今やグローバルな感性を持って地域に貢献するグローカル人間が必要とされる時代になっています。島根大学では、海外協定大学を1.5倍に増やし、留学可能な英語レベルを目指す特別副専攻英語高度化プログラムを開設、さらに2015年度から特別副専攻中国語高度化プログラムも開設する予定です。グローバルな感性を養成すると共に、海外を含むインターンシップ、地域での社会体験活動を通じて、タフで思いやりのある心を涵養する教育を行っています。地域社会体験は相互にニーズを掘り起こす産官学連携に貢献すると共に将来の自分の進む道を選ぶ上でも役立ちます。さらに、地元企業等と連携して留学生の島根県での就職活動の支援も積極的に行っています。

また、学部の壁を超えた自由度の高い実学精神を持った学際的教育・研究によりイノベーションを産み出すべく、14の戦略的プロジェクトセンターを立ち上げ、特別副専攻プログラムも順次開設しています。一つの学部では出来なかった新しい分野での発見や応用が期待されます。

地域の知の拠点として、地域から世界に発信でき、地域を活性化できるグローカル人材を育てることが島根大学の使命と考えています。

島根大学長　小林祥泰

PROFILE OF SHIMANE UNIVERSITY

CONTENTS

01 学長メッセージ
02 目標／島根大学憲章
03 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成
05 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進
07 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進
09 アジアをはじめとする諸外国との交流の推進
11 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営
13 法文学部・人文社会科学研究科
14 教育学部・教育学研究科
15 医学部・医学系研究科
16 医学部附属病院
17 総合理工学部・総合理工学研究科
18 生物資源科学部・生物資源科学研究科
19 法務研究科
20 キャンパスマップ（松江）／附属図書館（本館・松江）
21 キャンパスマップ（出雲）／附属図書館（医学図書館・出雲）
22 学内施設等

データブック
24 沿革・学年暦
25 沿革図
27 運営組織図
29 役職員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員
31 教職員数
32 学部・大学院
33 附属図書館
34 附属病院
35 学生数／附属学校児童・生徒・幼児数
37 入試状況
41 卒業者数・修了者数
43 卒業・修了後の状況
45 公開講座・公開授業
47 科学研究費補助金等の受入状況
48 収入・支出決算額
49 外国人留学生の受入状況
50 留学状況／奨学生数
51 定期刊行文献
52 土地・建物
53 連絡先一覧
54 アクセス

目標

1.グローバルな感性を涵養

短期留学を含めて本学からの海外研修、留学を推進（交流協定校がこの2年で約40％増加）

●英語教育の強化：英語高度化プログラム、アドバンスト・イングリッシュスキルコース（医学部）の2013年度新設、海外研修プログラム

●日本の文化を学び自信を持って異文化交流できるように古代出雲から小泉八雲までの郷土の歴史、文化を学ぶ「出雲文化学」を2013年度から新設

海外からの留学生増加、日本での就職支援の推進（日本語教育強化、アジア等の日本語学校との連携）

学内外の留学生と本学学生との定期的交流の促進（交流会増加、2012年度留学生混住学生寮を新設し、さらに2013年度増設）

2.社会人力（人間力）涵養

教育学部で実施している1000時間体験学修、総合理工学研究科で拡充したインターンシップ、医学部の地域臨床実習に加え、もっと広い意味での人間力涵養のため、低学年から参加する学生主体の地域社会体験（ソーシャルラーニング）を全学的に実施。また、「大学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャルラーニング」として山陰5大学連携事業を地域の経済団体や自治体などと協力して実施中。

3.自ら学ぶことが出来る（応用力がある）人材養成

学部の壁を越えて学ぶシステムを、2013年度から学際的卒業研究として導入した。また、英語高度化プログラムや環境教育プログラムに加え、2014年度からはジオパーク学プログラム、そしてIT関連プログラムなどの全学で展開する特別副専攻プログラムを順次開設中。

以上のような施策により、地域で活躍する人材育成や産官学連携研究推進にも繋がることを目指す。

島根大学憲章

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、専門の学芸を教授研究するとともに、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努める。とりわけ、世界的視野を持って、平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成することを使命とする。

この使命を実現するために、島根大学は、知と文化の拠点として培った伝統と精神を重んじ、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すとともに、学生・教職員の協同のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進する。

1. 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成
2. 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進
3. 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進
4. アジアをはじめとする諸外国との交流の推進
5. 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営

豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成

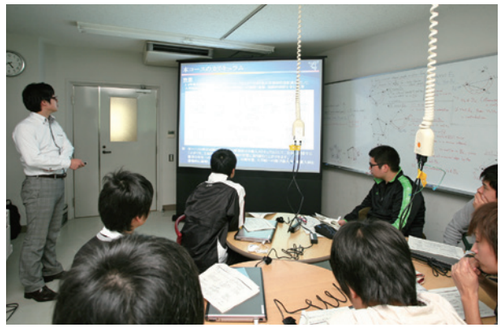
島根大学では、学生主体の教育活動を一層促進することを目的に、学士課程教育を構築・実施しています。学士課程教育とは、大学卒業者に授与される学士号にふさわしい能力・資質を定め、体系的に構築された教育課程を通じてそれを獲得していくことを意味しています。質の保証された学士課程教育を通じて、現代社会の要請に応え得る豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探求心に富む有為な人材を育成します。

全学共通教育

専門分野を超えた能力・知識の育成

全学共通教育とは、専門分野の枠を超えて島根大学の学生に共通に求められる基礎的な力や幅広い知識を育成するための教育のことです。全学共通教育は、その履修を通じて島根大学の全学生が身に付けて欲しい能力・資質の目標（下の①から⑤）を定め、自らの学びをさらに深めることができる人間、現代社会を形成するにふさわしい人間を育成します。

①知の探求者として育つ　②市民社会の形成者として育つ
③地域社会の創造者として育つ　④国際社会の貢献者として育つ
⑤自己の開拓者として育つ



専門教育

基礎から専門へ深化する一貫教育

専門教育は学士課程ごとに定められた教育目標に応じて構築された教育のことです。全学共通教育で培った能力・資質を発展させるとともに、高い専門性を身に付けることを目指し、基礎から専門へと体系的に深化する一貫した教育を行っています。専門性を活かして現代社会の課題を発見し、理性的・創造的に解決する力を育成します。

各学士課程教育において、現代社会に対応した教育を実施します。

法文学部	人を知り、人を創る
教育学部	体験が育む、プロの教育実践力
医学部	人類の福祉と地域医療に貢献する医療人の育成
総合理工学部	科学・技術が創る人間の未来
生物資源科学部	“いのち”あふれる地球を育む

■特色ある全学教育プログラム

学びのセルフプロデュース　～自分でデザインする新しい学びの形～

島根大学では、自分の専門・専攻の学びに加え、「プラスαの学び」を用意しています。大学での学びを自分自身で計画的にデザインしていく仕組み、それが学びのセルフプロデュースです。

+α1 自分の興味を活かして学ぶ中から「イノベーション基礎力」を身につける

多様な価値が交錯し、これまで誰も当面したことがなかったような問題が次々に現れる今日の複雑な社会情勢の中、大学卒業者に求められている力、それがイノベーションを生み出す力です。既成の方法の適用ではなく、自ら新たな課題を発見し、その解決を独自の道筋を立てて追求し、変革（イノベーション）をもたらす力。それを手にいれるためにはまず、現実の社会との関わりを持ち、その実体験の中から主体的に学んでいく態度と方法を身につけることが重要です。

島根大学においてはキャンパスを飛び出し、山陰地域の自然・歴史・文化・産業を実体験しながら学ぶ「ソーシャルラーニング（地域社会体験）」プログラム、環境に関するグローバルで多角的な視野を有し、地域に貢献できる人材養成のための「環境教育」プログラム、多様で個性豊かな地域遺産について学び、地域活性化を考える「ジオパーク」プログラムを用意しています。

+α2 キャンパスで、仕事の現場で、動いて学ぶ中から「人間力・就業力」を身につける

社会的自立のために求められる多様な能力を伸ばし、自分が社会に出て働くイメージをつかむ、そのような「人間力・就業力」を身につける重要性が近年、増しています。そこで、そのような力をつけるため、自らのキャリアを切り開く力をつける「就業力育成特別教育プログラム」が展開されています。

このプログラムは、①キャリアデザイン力育成コース②グローバル人材育成コース③地域貢献人材育成コースの3コースで構成されています。キャリア教育科目の拡充、短期海外チャレンジ研修及び中山間地域での実地体験活動等を試みることにより、国内企業及び海外や中山間地などの地域振興で活躍する幅の広い人材養成を目指しています。

+α3 英語高度化プログラムと積極的な留学体験で「国際感覚・英語力」を身につける

島根大学では国際感覚あふれる幅広いものの見方を身につけ、それを実践的に活かすことができるように、グローバルな教育を展開しています。高度な英語力を伸ばしつつ、グローバル社会で必要な資質を養成する「英語高度化プログラム」、医療現場で役立つ英語を向上させ、地域と世界に貢献できるグローカルな医療人を目指す「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」（医学部）が開講されます。また、夏休みや春休みを利用した短期海外研修プログラムなど、充実した短期・長期の留学制度も用意されています。

特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

幅広い分野にわたって高度な研究成果を蓄積し、それぞれの分野においてアクティブな知能集団として研究活動を推進するとともに、多様化する社会の要請に柔軟に対応できる研究組織の拡充強化を図ります。大学の使命を果たすために、学問の自由の理念に基づき、常に自らの教育研究活動に対する点検・評価を行い、新たな知的創造に向けての努力を行います。

また、大学院における教育研究活動をさらに推進し、地域に密着した個性的な研究及び国際的レベルの独創的な研究を重点的に育成するとともに、人類に共通する知的財産の継承発展や社会貢献を目指す学問領域も大切にする学風の構築を行います。

学部の枠を超えた研究活動「戦略的研究推進センター」

地域の知の拠点としての先端的研究の推進

全学的に取り組むべき具体的研究テーマを設定し、本学の特徴ある研究を集中的な経費配分のもとで推進しています。

重点的に取り組む研究プロジェクトは「戦略的研究推進センター」の次のような各部門及びプロジェクトセンターに位置づけられ、期限と目標を明確にして集中的に進められます。

戦略的研究推進センターのHPは、http://www.proken.shimane-u.ac.jp/をご覧ください。

重点研究部門
中期計画に沿った具体的研究テーマを学際的に推進し、本学の特色ある研究として国際的な研究拠点を目指す研究プロジェクトで構成されます。
詳細については、次頁をご覧ください。

萌芽研究部門
数人規模の個別テーマや小規模な学際的テーマで、近い将来本学の重点研究プロジェクトへの発展が期待される研究プロジェクトで構成されます。

特別研究部門
すでに外部資金等を獲得している研究のうち、本学が重要な研究と位置付け学内外に向けて情報発信することとした研究プロジェクトで構成されます。

プロジェクトセンター
部局を超えて特徴的な教育研究プロジェクトに参加する研究グループをプロジェクトセンターとして位置付けて見える化することにより、研究活動の一層の活性化と推進を目指すものです。

- Ruby・OSSプロジェクトセンター
- 疾病予知予防プロジェクトセンター
- 自然災害軽減プロジェクトセンター
- ヒッグス・初期宇宙プロジェクトセンター
- ウッド・デザインプロジェクトセンター
- たたらナノテクプロジェクトセンター
- 膵がん撲滅プロジェクトセンター
- くにびきジオパーク・プロジェクトセンター
- ナノテクプロジェクトセンター
- 農林水産業の六次産業化プロジェクトセンター
- 水産資源管理プロジェクトセンター
- 医・生物ラマンプロジェクトセンター
- 先天異常総合解析プロジェクトセンター
- 古代出雲プロジェクトセンター

研究内容の詳細については、http://www.proken.shimane-u.ac.jp/01project_center.htmlをご覧ください。

ホームページに「研究見本市」開設

島根大学研究見本市は、Web上で本学の各教員の研究紹介を行い、学内の研究ニーズ・シーズの発掘や情報共有および学外の皆さまに本学の研究シーズをわかりやすくご紹介することで、さらなる研究活動の活性化と共同研究の推進を図ることを目的に開設しています。

「部局名」「教員氏名」「キーワード」により検索することができますので、是非ご活用ください。

http://www.shimane-u.ac.jp/search/announce/index.cgiからご覧いただけます。

■平成25年度（最終年度） 重点研究プロジェクト

山陰地方における地域社会の存立基盤とその歴史的転換に関する研究

歴史的分析と現状分析から山陰地方における諸課題の解決を目指す

大田市温泉津町今浦の海岸

現在、山陰地方は人口の減少や過疎化をはじめとした諸課題を抱えています。本研究では、これまで島根大学が取り組んできた山陰地方を対象とする共同研究の成果を継承し、同地方が直面する課題の解決を目指します。

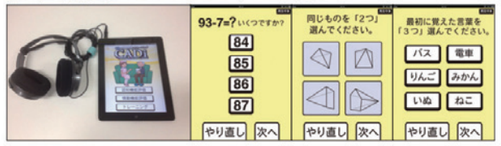
山陰地方（特に石見東部海岸部）における地域社会の存立基盤の変容を3期に分け、人口の増減、過疎化の状況や消滅集落を把握し、諸産業の盛衰について調査を行います。その成果をもとに、流通・交通の変化や自治体の経済政策、産業の担い手育成、金融資本の動向等を総合的に把握し、歴史的分析と現状分析の結合を通じて過去の経済政策の効果を検証します。併せて、特定地域における人口の将来予測や想定される事態予測を行うことで、山陰地方における地域社会の未来像を示すとともに、産業の担い手育成や自治体等の政策に関しても提言を行うことを目指します。また、本研究の推進担当者は30～40代が中心であり、若手研究者の育成も期待されます。

コホート研究プラットフォームを活用した高齢者難治性疾患予防研究

臨床医学・基礎医学・社会学を統合した学際的研究により健康長寿社会を目指す

住民健診風景

認知症早期発見のためのiPadアプリCADiの開発



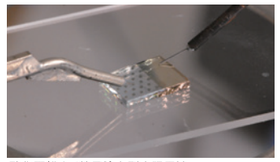
島根県は日本でも有数の高齢県であり今後さらに高齢化が進むことから、認知症を始め骨粗鬆症、慢性閉塞性肺疾患、膝関節症、緑内障などの疾病の早期発見および予防は最重要課題になると予想されます。本研究は、高齢化先進地域を多く有する島根県に立地する大学の特性を活かし、先進的な研究と地域貢献を両立させようとする取り組みです。

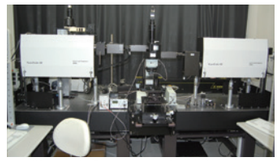
3年間のコホート研究では、いくつかの県内地域で1万人以上の健診データをデータベース化し今後の研究基盤を構築しました。先進的研究では認知症早期発見のための診断ソフトや器機・試薬を開発しました。さらに生活習慣病の遺伝子解析や認知症とかかわる脳機能解析を進展させました。地域貢献では、高齢者疾患予防のための運動や食事を含めた健康教室、脳トレーニング、介護予防の試み、地域のつながり強化の企画などで成果を上げてきました。さらに学生がコホート研究での健康調査やデータ解析等を体験することで、「現場体験」に基づく教育も実施してきました。

※コホート…特定の属性や外的条件（例えば地域）におかれた集団を意味する

S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト

島根大学発のナノテク材料・技術でイノベーションの創出を目指す


酸化亜鉛ナノ粒子塗布型太陽電池


汎用3次元共焦点レーザーラマン分光装置

医・理工・農連携のもと、島根大学が開発してきた「低コスト」「簡易」「実用性」、そして「安心」「安全」な技術開発を基盤とし、低炭素化社会や健康長寿社会の実現に向けたイノベーションの創出を目指すプロジェクトです。これまで島根大学が取り組んできた「S－ナノテク」、「S-匠ナノメディシン」プロジェクトを継承し、更なる発展を目指して取り組みました。

本プロジェクトは、グリーンイノベーション、ライフイノベーション、基盤技術の3つのグループから構成されます。島根大学が開発した独自のナノ材料をもとに、「グリーン」では、低コスト太陽電池や新しい蓄電・熱電技術、「ライフ」では、ナノ材料による早期診断・治療技術、食品応用技術等の開発を行いました。また「基盤技術」では、材料・評価の基盤技術を開発しました。これらを継続的に発展させるための学内連携・連携教育を展開し、ナノテク、たたらナノテク、医・生物ラマンの3つのプロジェクトセンターをナノテクの拠点として立ち上げました。

地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

山陰地域・環日本海地域という本学の置かれる地域の歴史的・地理的特性を生かして、人類に共通の財産としての学術・文化の継承発展を担い、さらに、地域固有のテーマに関する知的創造を通じて普遍的な真理を探求するとともに、本学が有する知的財産を活用して、教育・研究・文化の拠点として地域社会の発展に貢献します。このため、大学全体として地域のニーズに応える体制を構築することにより、地域に必要とされ、信頼される大学を目指します。

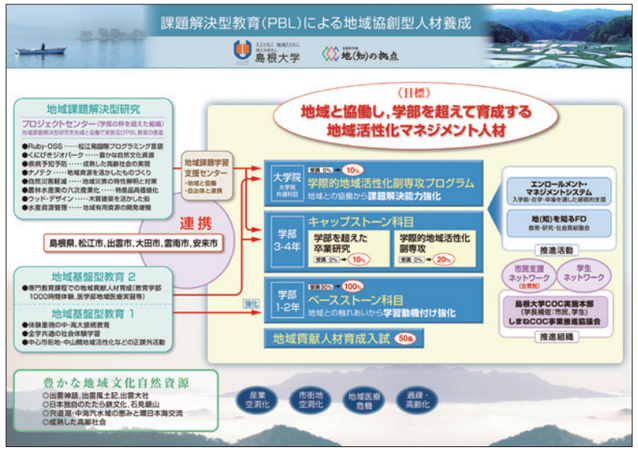
地域に貢献できる人材を養成する「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」の推進

島根大学では、地域コミュニティの中核的存在（COC = Center of Community）としての機能を強化し、地域の再生・活性化に貢献するために、自治体（島根県、松江市、出雲市、大田市、安来市、雲南市）と連携して、地域を志向した教育・研究を推進し地域貢献人材の養成を目指す「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」を平成25年度より展開しています。

この事業推進のために新たに設置された「地域課題学習支援センター」では、導入された地域学習支援ITシステムと授業収録配信システムを活用し、地域と協働して地域課題の解決に取り組む教育—課題解決型（PBL）教育ーを実施するための支援を行っています。

地域課題解決に繋がる研究活動は、プロジェクトセンター群を中心に取り組んでおり、その取組みの成果は広く地域に還元されるとともに、学生へのPBL教育・人材育成に活かされています。

※プロジェクトセンターの詳細については、大学ホームページをご覧ください。
http://www.shimane-u.ac.jp/research/project/project_center/



島根大学　地(知)の拠点整備事業「課題解決型教育（PBL）による地域協創型人材養成」実施状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
拠点の整備	H25.12 COC事業キックオフセミナー開催 プロジェクトセンター報告会開催 H25.10 地域課題学習支援センター設置	H26.5 COC事業実施本部会議 COC事業推進協議会専門委員会 H26.7 COC事業推進協議会 COC事業報告会開催 プロジェクトセンター報告会開催	COC事業報告会開催 プロジェクトセンター報告会開催 COC事業中間評価
教育（地域に貢献する地域協創型人材養成）	H26.2 授業収録配信システム導入 H26.3 地域学習支援ITシステム導入	授業収録配信システム運用 地域学習支援ITシステム運用 H26.4 特別副専攻プログラム（ジオパーク学）開設 ベースストーン科目開講（出雲文化学、初年次教育プログラム） H26.10 ベースストーン科目開講（島根学） 地域貢献人材育成コース試行	地域貢献人材育成入試
研究（地域社会が抱える課題解決型研究）	H26.2 プロジェクトセンター拡充（ウッド・デザイン、水産資源管理、医・生物ラマン） H25.12 プロジェクトセンター シンポジウム等開催	H26.4 プロジェクトセンター拡充（たたらナノテク、古代出雲、先天異常総合解析、難がん撲滅） 自治体との連携強化のため ワーキンググループを設置 プロジェクトセンター シンポジウム等開催	プロジェクトセンター シンポジウム等開催

地域に飛び出す学生たち

地域貢献活動

地域との繋がりを深めることを目的として、松江市の伝統行事である「拏行列（どうぎょうれつ）」への参加、地域で開催されるイベントの企画や農家での農作業活動、地域興しを目的とした祭りの企画・実施など、多くの学生が地域貢献活動を行なっています。また、各種スポーツ競技団体は地域で開催される競技会へ補助員として参加したり、学校等に出向いて学童に実技指導等を行っています。

拏行列の様子

秋縁祭の様子

ボランティア活動

ボランティアに取り組む学生が多いのも島大の特徴の1つです。療養所や保育園との交流、夜間に地域のみなさんと大学周辺を巡回する「防犯パトロール」、東日本大震災の被災地を訪れて行なう復興支援ボランティアなど、さまざまなボランティア活動を行なっています。また、ボランティア活動やサークル活動などの正課以外の諸活動を頑張る学生にポイントを付与することにより応援する、ビビットポイントという大学独自の制度があります。
http://shiengp2.jn.shimane-u.ac.jp/

安全安心まちづくりボランティア

東日本大震災ボランティア

産学連携の具体例

地域資源-薔薇「さ姫」のエキスによる芳香療法

出雲大社の境内には「看護の神（蛸貝比売命・蛤貝比売命）」が祀られています。そこで島根大学は、看護学を核とする共同研究（看農連携・看工連携）を推進し、その一環として地元農家の奥出雲薔薇園が開発した芳香性の高い薔薇「さ姫」のエキス（トップノート）のアロマ効果を検証しました。その結果、認知症高齢者の介護で困難な場面である入浴時において、薔薇「さ姫」の芳香により感情を穏やかにすることが実証されました。「さ姫」については、「食」の観点からも癒し効果について産学連携で共同研究を進めています。この一連の活動「看工農連携による認知症研究の体制構築・実践と境界領域の融合戦略」に対して、第7回モノづくり大賞・特別賞（日刊工業新聞社主催）を関連する3団体（島根大学、奥出雲薔薇園、介護老人保健施設もくもく）が受賞しました。

就寝状態確認システム「寝僧」

日本の高齢化は近年ますます進行し、それに伴い医療・介護の現場は安全面での対応が求められています。特に高齢者の転倒・転落、徘徊等は大きな問題であり、早期の発見や予知が大切です。一方で、寝たきり等になった場合の褥瘡（じょくそう）対策や孤独死の防止も必要です。これまでは例えばマット式センサーによる離床(ベッド等から離れる動作)検知が行われてきましたが、センサー検知時には既に離床しており、発見が遅れました。これらを解決する目的で、全く新しい発想によるセンサーシステムを、島根大学医学部附属病院医療情報部と山陰制御（有）（安来市）が産学連携で開発しました。センシングにはキーボードで用いられるスイッチを利用し、マットレス(あるいは敷布団)の下9ヶ所 (背中、腰、すねの位置で中央と左右)にスイッチを置くと共に、一定以上の重量がかかった際にスイッチがONとなるよう弾力を持ったカバーを取り付けました。各センサーのON/OFFはプロセッサに集約され、ONの分布とその変化の有無を解析することで、離床、寝返り、起き上がり、「寝返りを打っていないこと」が検知できます。

ベッドの横梁に取り付けたセンサバー
（ピンクの棒がセンサバー）

大学の開放

公開講座・公開授業

島根大学にはバラエティーに富んだ公開講座・公開授業、そして市民に開放された施設が用意されています。生涯教育推進センターを窓口に、これまで多くの公開講座・公開授業を実施してきました。これからもさまざまな講座や授業、イベントを企画提供し、地域市民の生涯学習意欲に応えていきたいと考えています。

松江の茶の湯文化と出雲の陶磁文化

単結晶シリコン太陽電池の製作実習

金曜日のドイツ語

春と秋の農場開放日

松江市上本庄町の「附属生物資源教育研究センター」（通称：本庄農場）において、春の桜開花期と、秋の収穫期に一般開放事業を実施しています。地域の人々にとっても恒例行事となっています。

アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

最先端の学術・文化に関する情報を世界に発信するとともに、研究者・技術者・学生による学術・技術・文化の交流を通じて国際社会に貢献します。特に、アジアとの国際共同研究、学術交流及び留学生交流に重点を置きます。人情に厚く、住みやすい島根県に所在する本学の歴史的・地理的特性を活かして、日本の自然と文化に触れてもらい、外国人研究者との共同研究や「未来からの大使」としての留学生の教育や交流などを通じて大学の最新情報を世界に発信します。

学生交流

島根大学では、海外の協定校のうち「学生交流に関する協定書覚書」を締結している協定校から交換留学生を受け入れるのと同時に、島根大学の学生を学籍上「在学」の扱いで、その大学に交換留学生として派遣することにより学生の相互交流を推進しています。

また、交換留学制度以外にも授業の一環として、春や夏の長期休暇の時期に米国、カナダ、韓国、中国、香港・シンガポール等での海外研修を実施しています。この研修は、ホームステイ、文化講座の受講、現地学生との交流会等盛りだくさんの内容になっています。この研修に参加し、自身の成長を体感した学生が、改めて交換留学に申込むケースもあります。

米国 アーカンソー大学との連携による春期海外研修

アーカンソー大学で毎年春に本学の学生が約3週間の海外研修を行っています。この研修はアーカンソー大学英語学習センターでの授業、ホームステイ体験、カンバセーションパートナーとの交流、豊かな自然環境の中での野外活動等、様々な体験を通して実践的な生きた英語を学びます。

研修の様子（2014年2月）

韓国慶尚大学校との連携による夏期研修

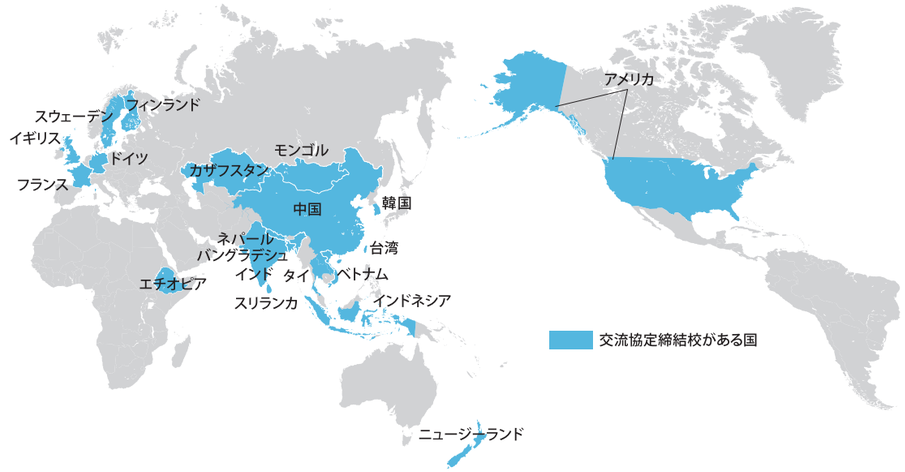
約10日間に渡り慶尚大学校（慶尚南道晋州市）において、韓国語の初歩を学ぶとともに、文化講座、見学旅行、慶尚大学校学生との交流を通じて韓国の文化・社会・歴史などに触れ、日韓両国の相互理解を深めます。また、研修前半では首都ソウルに滞在し、地方との文化比較体験も行います。

玉浦造船所にて（2013年8月）

■ 交流協定締結校

2014.5.1現在

大学等名	国　名	協定締結日	大学等名	国　名	協定締結日
セントラル・ワシントン大学	アメリカ	1982.3.26	慶北大学校	韓国	1991.3.6
ケント州立大学	〃	1982.8.31	釜山大学校自然科学大学	〃	2013.12.2
カリフォルニア大学デイビス校	〃	1986.2.11	全北大学校	〃	2013.12.5
アーカンソー大学	〃	1993.3.1	ジャン・ムーラン・リヨン第3大学	フランス	1990.11.24
コロラド大学医学部健康科学センター	〃	2006.2.23	オルレアン大学	〃	2002.7.12
テキサス大学ダラス校	〃	2007.8.10	モンゴル科学技術大学	モンゴル	1999.3.24
フロリダ大学教養学部 言語文学文化学科	〃	2009.12.4	モンゴル健康科学大学	〃	2002.10.4
			トリブバン大学	ネパール	1991.12.8
アリゾナ大学	〃	2010.5.26	アンダラス大学	インドネシア	1997.5.6
テキサス大学タイラー校	〃	2012.10.17	ハサヌディン大学	〃	2013.12.17
東北林業大学	中国	1989.12.28	ハノイ医科大学	ベトナム	2005.10.17
南京林業大学	〃	1993.4.15	トリア大学	ドイツ	2008.11.20
中国農業大学	〃	1996.12.29	リンショーピン大学	スウェーデン	2005.4.21
寧夏大学	〃	1997.8.18	ルンド大学プライマリーヘルスケア 研究センター	〃	2014.4.28
北京林業大学	〃	1997.8.23			
吉林大学	〃	1999.2.1	キングモンクット工科大学 トンブリ校生物資源テクノロジー研究科	タイ	2010.12.23
河北師範大学	〃	2002.7.29			
大連大学	〃	2003.6.30	マヒドン大学シリラジ病院	〃	2011.2.2
寧夏医科大学	〃	2004.2.27	タマサート大学医学部	〃	2014.2.28
北京師範大学	〃	2004.3.18	コンケン大学	〃	2014.4.10
中国人民大学経済学院	〃	2005.4.14	ダッカ大学	バングラデシュ	2011.4.12
山東大学	〃	2005.7.20	セメイ国立医科大学	カザフスタン	2013.1.28
浙江大学教育学院	〃	2006.3.31	アワサ大学	エチオピア	2013.9.7
東北師範大学	〃	2012.11.22	インド科学大学	インド	2013.11.5
大連理工大学数学科学院	〃	2014.2.10	ワイカト工科大学	ニュージーランド	2014.2.5
延世大学校	韓国	1989.6.3	JAMK応用科学大学	フィンランド	2014.2.13
釜山教育大学校	〃	1990.3.23	台湾国立交通大学総合科学センター	台湾	2014.1.23
慶尚大学校	〃	1991.3.5	ペラデニア大学	スリランカ	2014.3.25
			エクセター大学	イギリス	2014.4.4



国際交流センター

国際交流センターは、その前身である1998年開設の留学生センターの成果を受け継ぎ、2006年より多くの関係者のご協力を得て島根大学の国際交流事業を推進しています。本センターでは、島根大学憲章の精神に基づき、グローバル人材育成を目指して国際的通用性を養う講義を行うと共に、海外の54の協定大学や地域のコミュニティと連携しながら次のような重点施策を推進しています。

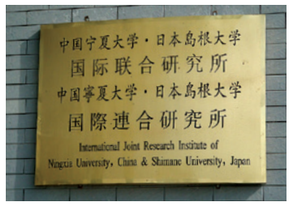
1. 島根大学の重点教育研究分野において海外の先進大学群との戦略的ネットワークの構築
2. 島根大学から派遣する学生数や研究者数の増加
3. 海外からの留学生や研究者の受け入れ体制の強化

島根大学の学生や留学生の皆さんには、国際交流センターの活動を良く知っていただき、気軽に相談できるセンターとしてご利用ください。

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

1987年、本学の教員が外国人として初めて中国寧夏回族自治区南部山区に入り学術調査を行い、それがきっかけとなり、本学と寧夏大学との研究交流に発展しました。研究交流開始10周年にあたる1997年には、両大学間で交流協定が締結されました。2005年9月には、両大学間で長年続けてきた研究交流を本格的に発展させると共に、人材育成事業に協力するため、寧夏大学キャンパス内に島根大学・寧夏大学国際共同研究所が完成しました。当研究所では、都市と農村との地域間格差問題、中山間地域（条件不利地域）の活性化、開発と環境問題などを主テーマとして共同研究を行い、これまで11回にわたって学際的な国際セミナーを重ね、最近では2013年10月に、『中日両国における国際化を視野にいれた農村社会自然経済の持続可能な発展』をテーマにした国際セミナーを寧夏大学で開催しました。セミナーでは、報告数と報告者の範囲が年々拡大していますが、今後は特に、自然科学系・技術系の研究者がより多く参加することで、その議論も深まり一層実り多いものとなるよう期待しています。またこれに合わせて、日本文化をより広く知ってもらうため、島根大学教職員・島根県民から寄贈された図書を寧夏大学に寄贈し、研究所内に図書館を開設しました。

島根大学は、今後も当研究所での研究成果を世界に発信するとともに、国際交流と人材育成を積極的に展開し、当研究所を中国・西部地域研究の学術ネットワークの拠点として活用していく予定です。



研究所の業務内容

- ●研究事業（主なテーマ）
  - 「日中条件不利地域、とくに農村地域の持続可能な発展に関する研究」
  - 「気候変動緩和対策と持続可能な食料生産に関する研究」
  - 「日中両国の社会経済の変容への対応と伝統文化の維持発展に関する研究」
  - 「島根大学型環境教育システムの中国への移転と教育人材の養成（プロジェクト）」
- ●学術交流、文化交流、国際学術セミナー・シンポジウムの開催（日本・中国）
- ●図書館資料の蓄積と提供、島根大学への留学希望者に対する情報提供
- ●島根県、松江市等の国際交流事業への協力

学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営

教育研究環境の向上・充実を図るために、教員組織と事務組織その他全ての職員組織を有機的に機能させ、大学においては学生へのサービス体制と教育研究、附属病院においては教育研究及び医療を重視した管理運営を目指します。このため、本学独自の多元的な自己点検・評価及び外部評価を活用し、学長のリーダーシップと補佐体制の充実による企画・立案機能の向上と迅速かつ合理的に目標や計画の実行が可能となる管理運営組織を構築するとともに、その責任体制を明確にします。また、教職員・学生の声が反映され、透明性のある管理運営を行うとともに、教職員にとって働きがいのある職場環境の充実を図ります。

教職員・学生みんなの「声」が創る島根大学

島根大学では、学生の現状を把握し、彼や彼女らの声を掬い上げ、教育改善を図るべく、入学時アンケート、初年次教育ポストアンケート、授業評価アンケート、卒業生・修了生アンケートを教学企画IR室と教育開発センター中心に実施しています。各アンケートの結果は、教員にフィードバックされ、授業を改善する際の基盤として位置づけられます。

FD・SD（大学教職員の能力向上・資質開発）は、従来の大学教育の中で質の高い活動を行っていくと同時に、大学の概念にとらわれずに地域の様々な方との関わりの中で意見交換を行っています。さらにより質の高い教育を実施するためには、学びの主体となる学生の意見も重要です。授業評価アンケートでは、個々の教員が学生の声を教育改善に反映しやすいシステムを整えました。また、先輩学生が後輩をサポートする様々なピアサポートプログラムも展開しています。

このように島根大学では、学生の声や教職員の協働をもとに、よりよい大学環境づくりを邁進しています。

大学と地域を結ぶソーシャルラーニング

島根大学では、平成24年度から、文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」の採択事業である「大学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャルラーニング」に取り組んでいます。この取り組みは、代表校である本学の他に、連携校として島根県立大学・鳥取環境大学・島根県立大学短期大学部・鳥取短期大学、協力校として米子高等専門学校・松江高等専門学校という山陰地域の高等教育機関が参加して、地域社会の方々との共同で学生を育成していくものです。

本取り組みでは、「ソーシャルラーニングポリシー」という教育目標を設定しています。それは「山陰地域をフィールドに、その豊かな自然・歴史・産業・文化的資産を活かし、地域社会と高等教育機関が協働して「主体性」、「コミュニケーション能力」、「イノベーション基礎力」を備えた人材の育成を行う」というものです。この目標に向かって大学と地域が連携して教育を行っていきます。

「ソーシャルラーニング」とは、ここでは社会での活動を通じて学びあうことを指します。教室で学ぶという従来の大学での授業スタイルに加えて、学生は、地域社会に飛び出していくことで、様々な学びの体験をすることになります。

ワークライフバランスの実現

島根大学では、構成員の職場環境を整備し、組織を最大限に機能させることにより、教育研究環境の向上・充実を図っています。

男女共同参画推進室では、ホームページやメールマガジン等を通じた妊娠、出産、育児及び介護に関する支援制度の紹介や、育児休業を取得したことがある男性職員による子育てに関するコラム集「育児するお父さんへのエール」の配付、また、講演会等の意識啓発事業を行っています。

平成25年1月には、島根県では6例目となる「子育てサポート企業」（国が認定する子育て支援に取り組む企業・団体）として認定され、認定マーク"くるみん"を取得しました。

また、出雲キャンパスでは「病児・病後児保育」、公設の学童保育終了時刻後に保育者の勤務終了まで子どもを預かる「学童一時保育」の実施、並びに就学前の子どもを預かる院内保育所の設置等保育支援を行っています。

平成24年度、医学部全教職員・医学部生を対象とした院内保育所ニーズに関するアンケートの集計結果を踏まえ、平成25年度より利用要項を改正し、土日祝日の開所（年末年始は除く）、終夜保育（週3日）、夕食付延長保育、一時保育等さらなる利便性向上に努め、出産後の職場復帰に寄与しています。

医学部附属病院では、平成19年3月に女性医師・全ての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証を国立大学病院として初めて受け、平成24年3月に認証の更新が認められました。また、病院の診療支援施設に「ワークライフバランス支援室」を設置し、働きやすく学びやすい医学部・附属病院を目指して様々な事業を行っています。本学職員の要望から産学共同で「コートタイプのマタニティ白衣」を開発し、教職員・学生へのマタニティ白衣のレンタル事業を行う等多様なライフスタイルに適合したキャリア継続支援を行っています。メンタルヘルスにも配慮した対応を心掛け、ソフトとハードの両面から職場環境を改善し、キャリアプランを実現できるようバックアップしています。

認定マーク「くるみん」

冊子「育児するお父さんへのエール」

コートタイプのマタニティ白衣

医学部附属病院「うさぎ保育所」

市民パスポート会員制度

島根大学では、生涯学習社会に対応して教育・研究の成果を広く社会に公開してきました。平成26年度からは、「地（知）の大学」として、さらに充実した生涯学習を提供するために『市民パスポート会員制度』を新設しました。この制度は年会費5,000円でどなたでも入会することが可能です。「広報しまだい」の送付や大学施設の利用、島根大学のさまざまな活動に参加が可能など、多くの特典を用意していますが、一番の魅力は「公開講座」の一部や「公開授業」を無料で受講できることです。このようなサービスを提供することで、市民の皆さまに生涯現役として「知る」という楽しみを感じていただいています。

平成26年4月に完成した学生市民交流ハウス

法文学部
人文社会科学研究科

Faculty of Law and Literature
Graduate School of Humanities and Social Science

人を知り、人を創る

私たちは、他者との関わりのなかで自己という存在を強く意識しヒトから人へと成長していきます。人を知り、人を創る技を磨くことが、社会を、国家を、世界を知ることにつながっていくのです。全国屈指の少人数教育に情報技術や国際交流をとりいれた法文学部をステップとして、世界へ、人間探求へと飛躍してください。

■ 法文学部ホームページ
http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/

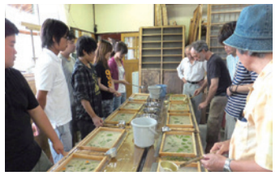
人文社会科学研究科 法経専攻 言語・社会文化専攻

▲

法文学部 法経学科 社会文化学科 言語文化学科

法経学科

法経学科では、経済学と法学の両面から社会について学び、民間企業の法務・金融担当者や司法書士、行政書士等の法律経済関係の専門、一般職に就く人を育成するだけでなく、法科大学院やビジネススクール、研究者養成大学院等に進学する人を育成します。また地域には、環境、少子高齢化、地方分権、中山間地域、地域振興等、解決すべき課題が山積みしています。これらの課題の解決に必要とされる法学・経済学の基礎的な知識と応用力を身につけ、分析能力・政策立案能力や問題処理能力を養うことによって、国・地方公共団体等の行政部門やNPOで活躍できる人を育成します。



社会文化学科

社会文化学科は現代社会・歴史と考古・福祉社会の3つのコースに分かれています。所属コースは、1年生の後期に決定されます。

現代社会コース

人間と環境、地域と人間の相互関係、地域社会の構造や機能、文化の特徴等を体系的に理解する視点を養います。座学中心の講義や演習に加えて、実験や観察、社会調査やフィールドワーク等の実習教育を重視し、データ収集と分析技法を身につけた人を育てます。

歴史と考古コース

歴史学では日本史・東洋史・西洋史・現代史について、考古学では日本列島を含めた東アジアを対象に、それぞれ専門的に教授し、理論と実地調査への認識を培っています。学生研究室は、学生自身が自主的に運営しており、分野・時代ごとの自主ゼミが開設されるほか、研修旅行も毎年企画しています。

福祉社会コース

現代社会の重要テーマである社会福祉の問題に取組み、地域社会に貢献できる人の育成を目指します。講義や演習に加え、福祉現場での実習を通して社会福祉の全体像を学ぶことができます。本コースでは所定の科目を履修すれば、社会福祉士国家試験の受験資格が取得できます。

言語文化学科

言語文化学科では、東洋・西洋の言語文化について古代から現代まで幅広く学ぶことができます。学生の皆さんは2年生以降、所属する分野を自由に選び、自分が興味を持つ事柄を深く学びながら、言語文化を理解する方法を習得し、論理的に思考を表現する力を身につけ、語学力を高めていきます。

日本・東アジア言語文化分野

日本語学・日本文学の分野では、古代から現代に至るまでの日本語と、それによって生み出された文学について幅広く学ぶことができます。中国語学・中国文学の分野では、遠く神話、甲骨文字の時代から、現在活躍中の中国作家の作品に至るまで、広く研究することができます。

英米・ヨーロッパ言語文化分野

イギリスとアメリカ、及びドイツ・フランス語圏の言語、文学、文化の研究を通して幅広い視野、分析力を身につけます。また、様々な演習の授業を通じて各言語の読解力とコミュニケーション能力を高めます。異文化交流に積極的な学生が多く、毎年何人も語学研修や海外留学に出かけています。

文化の創造と理解分野

人が生み出したものを理解し、その理解をもとにしてさらに創造する—この分野では、継承・衝突・創造が繰り返す人間の文化活動を研究の対象にします。また、芸術・文学・映画・音楽などの作品にも実際に触れながら、文化理解のための技術を習得していきます。

大学院 人文社会科学研究科
●法経専攻（法政コース・地域経済コース）
●言語・社会文化専攻（言語文化コース・社会文化コース）

入学した大学院生は、各自の研究課題や修了後に目指す進路に応じた4コース（法政コース、地域経済コース、言語文化コース、社会文化コース）のいずれかに属し研究のスキルをみがき、各分野の高度な専門的知識と技法を習得します。さらに、学際的・国際的 な研究を通じて、総合的実践的能力を育むことも目指します。

■人文社会科学研究科HP http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/

教育学部
教育学研究科

Faculty of Education
Graduate School of Education

体験が育む、プロの教育実践力

山陰地域唯一の教員養成専門学部です。21世紀の教育改革をリードし、地域の教育課題の解明と解決に積極的に取組むとともに、1000時間体験学修等の独自の教師教育プログラムにより、教職への限りない情熱と様々な教育的課題に対応できる優れた教育実践力を備えた教員の養成を目指します。

■ 教育学部ホームページ
http://www.edu.shimane-u.ac.jp/

教育学研究科 教育実践開発専攻 教育内容開発専攻

▲

教育学部 学校教育課程
○初等教育開発専攻 ○特別支援教育専攻 ○言語教育専攻
○共生社会教育専攻 ○数理基礎教育専攻
○自然環境教育専攻 ○人間生活環境教育専攻
○健康・スポーツ教育専攻 ○音楽教育専攻
○美術教育専攻 ○臨床心理特別副専攻

初等教育開発専攻

現代社会における教育の使命を考えながら、確かな知識（理論）をもとに実践に取り組む資質・能力を備えた小学校の教員を育成します。理論と実践との往還を通して、よりよい授業や学級経営、学校経営を志向し続ける高度な専門性を獲得できます。

特別支援教育専攻

学習や生活上の困難を抱えた心身に障がいのある幼児・児童・生徒等を対象とする指導の基礎となる知識や教育実践力を身につけた教員の育成を目指します。

共生社会教育専攻

教職に関する基礎的学力はもちろん、歴史学、地理学、哲学・倫理学、社会学、社会科教育学等の専門分野に立脚した教科内容の研究能力を育成し、社会科系諸教科の素養を養います。

言語教育専攻

＜国語教育コース＞

日本語学、古典文学、近代文学、漢文学、書写・書道、国語科教育学の6分野で専門の授業を行い、教員・社会人に相応しい実践的な国語力やコミュニケーション能力を修得していきます。

＜英語教育コース＞

英語教育の理論と実践を学ぶのはもちろん、英米文学の原典を読んでその真髄に触れたり、また会話や作文を通しての英語運用能力向上にも力を入れています。

人間生活環境教育専攻

家政教育（衣・食・住）、幼児教育、技術教育（ものづくり・栽培・情報）などの人間が生活していく上で基本となる知識を身につけます。さらに、それぞれの領域において、専門知識を身につけると共に、実習によって実践力を備えた教員を育成することを目指しています。

数理基礎教育専攻

計算や数式・図形を理解・操作する能力及び論理的思考力を身につけ、数学について深く理解し、問題や課題を見つけて教材化する力を持ち、的確な指導と説明のできる教員の育成を目指します。

自然環境教育専攻

理科教員に必要な自然科学に関する基礎的知識・技能や探究方法を身につけるとともに、子どもの知的好奇心を刺激し、自然を探究する楽しさを伝えることができる指導法や教材開発について学びます。

美術教育専攻

基礎的な造形能力や美術教育理論を習得する授業と、それらの専門性を深める授業、さらには豊富な臨床的教育体験等でカリキュラムを構成し、造形と美術教育の理論及び実践的能力を身につけた教員の養成を目指します。

健康・スポーツ教育専攻

保健体育の理論や実践力を身につけるとともに、地域の子どもを対象にした様々なスポーツ活動支援を通して、子どもの理解を深め、発達段階に応じ適切な指導が行える専門的能力を育成します。

音楽教育専攻

声楽、ピアノ、管弦打楽器、作曲、音楽教育学の各分野のうち、専科として1つの分野の専門性を深めるとともに、副科として幅広い分野を学ぶことができます。また、授業を通して学外での音楽教育活動を積極的に行い、実践力を備えた音楽教員の養成を目指します。

臨床心理特別副専攻

臨床心理学の多様な技法と理論をベースに、児童生徒の心理を深く理解できる優れた専門性をもつ教員になれるよう、学びます。また、大学院に進学し、臨床心理士資格取得を目指すこともできます。

大学院 教育学研究科 ●教育実践開発専攻 ●教育内容開発専攻

急速に国際化、情報化が進展する現代社会において、新時代を担うべき優れた教員を養成することが重要課題となっています。本研究科は、「スクール・リーダー」となる高度な資質を有する学校教員の養成を目的とし、山陰地域における教員養成基幹大学院として現職教員及び学部卒業生の双方を対象に高度な専門性に裏打ちされた、地域の教育界を担う人材の育成を目指しています。そのために、学校教育現場における学校教育研究、授業研究の力を養成する「教育実践研究」科目を開設するなど、学部教育のカリキュラムとの有機的関連性を重視しています。また、教職経験3年以上の現職教員を対象に、通常の2年課程に代る「1年短期履修コース」を設置し、教育課程・教育方法等に特段の措置を講じることで現職教員が自ら求める専門職性の向上に努めています。

■教育学研究科HP http://www.edu.shimane-u.ac.jp/gakubu_daigakuin/

医学部
医学系研究科

Faculty of Medicine
Graduate School of Medical Research

次世代を担う医療人の育成と先進医療の地域への還元

生命の尊厳と患者の権利・人格の尊重を教育の理念とし、
広い教養と高い倫理観、科学的な探求心と総合的な判断能力を身につけ、
時代の要請に応じて社会に貢献する医師・看護師を養成することを目指しています。

■ 医学部ホームページ
http://www.med.shimane-u.ac.jp/

医学系研究科（博士課程）
医科学専攻
- 研究者育成コース
- 高度臨床医育成コース
- 地域がん専門医育成コース
- 総合診療医指導者育成コース
- （医理工農連携教育プログラム）

医学系研究科（修士課程） 看護学専攻
- 看護援助学コース
- 看護管理学コース
- 母子看護学コース
- 成人看護学コース
- 地域在宅看護学コース
- 高齢者看護学コース
- 老人看護CNSコース

医学系研究科（修士課程） 医科学専攻
- 総合医科学コース　がん専門薬剤師養成コース
- 地域医療支援コーディネータ養成コース
- 医療シミュレータ教育指導者養成コース
- （医理工農連携教育プログラム）

医学部 医学科（6年）

医学部
看護学科（4年）
- 看護師
- 保健師
- 助産師(選択)
- 養護教諭1種(選択)

医学科

一般入試、推薦入試の他、地域枠推薦入試、緊急医師確保対策枠入試、学士編入を行い、多彩な人材を募集しています。入学後は、豊富な教養科目により豊かな創造力・幅広く柔軟な思考能力・高いコミュニケーション能力を培うとともに、医療の現場体験ができる早期医学体験実習、実習が充実した基礎医学科目、チュートリアル教育を取り入れた臨床医学科目を通して、高度な専門医学知識・医療技術を学びます。臨床実習は、医学部附属病院の他、大田総合医育成センターや県内の45医療施設を選択して行い、実践的な臨床能力を培います。地域医学を学習できる機会が多いことも特徴です。

また、国際的な場で活躍できるべく徹底した医学英語の習得、先進医療の体験や学習、海外医療施設での実習の機会も用意しています。

看護学科

医療の高度化が急速に進展する一方、超高齢社会の到来によって、人々の看護に対するニーズは益々増大し、多様化してきています。

看護学科ではこうした社会の要請に応え、医療機関であれ地域であれ、一人ひとりの健康ニーズを的確に把握し、適切に援助していくことのできる専門性の高い有能な看護職を養成したいと考えています。

課題を論理的に分析し解決していく問題解決能力や、科学的根拠に基づいて援助を実践する能力、ケアの対象者との信頼関係を構築していく対人関係能力など、総合的な看護実践能力の基礎を身につけられるよう、少人数による課題解決型の演習や、病院や保健所、社会福祉施設等での実践をとおして学ぶ臨地実習、ゼミ形式の卒業研究など、多様な方法と場を設定した教育に力を注いでいます。

大学院　医学系研究科

《博士課程》●医科学専攻（研究者育成コース　高度臨床医育成コース
地域がん専門医育成コース　総合診療医指導者育成コース）
《修士課程》●医科学専攻（総合医科学コース　がん専門薬剤師養成コース
地域医療支援コーディネータ養成コース　医療シミュレータ教育指導者養成コース）
●看護学専攻（看護援助学コース　看護管理学コース　母子看護学コース
成人看護学コース　地域在宅看護学コース　高齢者看護学コース　老人看護CNSコース）

医学及び看護学の発展と人類の福祉の向上に寄与するため、医学および看護学に関する学術の理論とその幅広い応用を教授研究します。医学分野では、研究者として自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えた研究者を養成し、同様に優れた研究能力と応用力を有する臨床医・腫瘍専門医、高度職業人を育成します。看護学分野では、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力や高度の専門性を要する職業等に必要な能力と、豊かな人間性を備えた研究者、高度専門職業人を養成します。

■医学系研究科HP　http://www.med.shimane-u.ac.jp/graduate/index.html

医学部附属病院

University Hospital

理念『地域医療と先進医療が調和する大学病院』

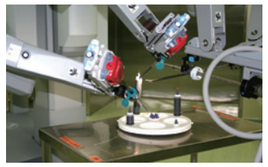
目標
- 患者さん中心の全人的医療の実践
- 人間性豊かな思いやりのある医療人の育成
- 地域医療人との連携を重視した医療の提供
- 地域社会に還元できる研究の推進

■島根大学医学部附属病院ホームページ
http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/index.html

昭和54年に開設以来、県下唯一の特定機能病院として医療人教育、高度医療提供、臨床研究に当たってきました。都道府県がん診療連携拠点病院としてがんプロフェッショナル養成プラン、大学病院連携型高度医療人養成プランを推進中です。「プライバシーマーク」、大学病院初の「働きやすい病院評価」、附属病院として全国初の「ISO14001（環境マネジメント）」を取得し、卒後臨床研修評価機構の認定も受けています。また、本院薬剤部は「ISO9001（品質マネジメント）」も取得しました。文科省GP以降も多くのスタッフ、学生を海外病院研修に派遣し実践的臨床教育に取り組んでいます。平成23年6月に緩和ケア病棟と腫瘍センター病棟の併設やチーム医療を重視した重症度別ケア、高度医療に対応した新病棟が完成しました。耐震・免震は元より地下水の活用、自家発電機能も拡充し防災対応機能も充実させています。既設病棟、外来・中央診療棟の改修は、平成25年3月に完了し、大学病院としての本格的な診療・教育・研修が可能となりました。

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

「ダ・ヴィンチ」とは体腔鏡下3次元画像で遠隔操作手術を行うもので、ロボットアームの関節が人の動きを超えた可動域を持ち、精緻な動作が可能な手術支援ロボットです。島根県内では本院が唯一の導入施設で、現在は週1回のペースで前立腺全摘除術を行っています。今後は、膀胱全摘除術、腎部分切除術へと適応を拡大し、消化器外科、婦人科の手術もダ・ヴィンチを用いて実施する予定です。



みらい棟オープン

平成25年8月に「みらい棟」がオープンしました。1階に卒後臨床研修センター、しまね地域医療支援センター、2階には総合医療学講座、地域医療支援学講座、3階にはがん関連の講座が入っています。「みらい棟」には、島根県の診療を担う若手医師の研修拠点として大きな期待が寄せられています。

「働きやすい病院評価」「ISO9001（本院薬剤部）」

平成19年3月に、女性医師・すべての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証を受け、また、本院薬剤部が、平成25年11月に品質マネジメントを評価する「ISO9001」の認定を受けました。

クリニカルスキルアップセンター

本センターは、体系的カリキュラムのもとに医療技能訓練を行うことで、優れた技術を備えた医療人を育成するために平成21年度に開設されました。模擬ICUにシムマンなど高度な機能を持つシミュレータ機器を多数揃え専任講師と救命救急士の助教による研修を常時行っています。今年度は、ダ・ヴィンチのシミュレータを設置し、学生から若手医師まで、手術のトレーニングが可能となっています。

病児・病後児保育室「ニコニコうさぎ」

職員の職場環境改善の一環として、院内保育所「うさぎ保育所」を開設しています。院内保育所と同じ施設内では病児・病後児保育室「ニコニコうさぎ」を開設し、保育環境の充実に努めています。

ちょっと気になる健康講座

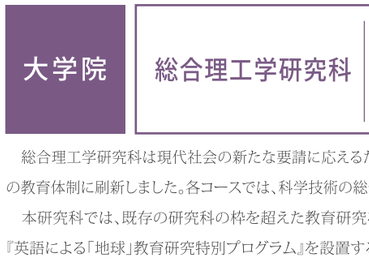
病院1階待合ホールで毎週1回（原則木曜日）、各診療科の医師がそれぞれの分野での、日常生活における「ちょっと気になる」健康や医療に関する内容をお話ししています。

総合理工学部
総合理工学研究科

Interdisciplinary Faculty of Science and Engineering
Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering

科学・技術が創る人間の未来

最新の手法を駆使して自然科学を解明しようとする理学系分野と、
未来の最先端科学技術を担う工学系分野が、既存の学問分野の枠を越えて
1つの学部に総合、融合、一体化した全国的にもユニークな学部のひとつです。
素粒子サイズから地球サイズまで、さまざまな対象を科学的に捉え、
基礎理論から先端技術への応用まで幅広く扱う学際的教育・研究システムを特色としています。



■ 総合理工学部ホームページ
http://shimane-riko.jp/

総合理工学研究科（博士後期課程）
総合理工学専攻
- ■理工学際創成コース
- ■数理・物質創成科学コース
- ■地球科学・地球環境コース
- ■機械電子情報工学コース

◀

総合理工学研究科（博士前期課程）
総合理工学専攻
- ■理工・医連携コース
- ■物理・材料科学コース
- ■物質化学コース
- ■地球資源環境学コース
- ■数理科学コース
- ■情報システム学コース
- ■機械・電気電子工学コース
- ■建築・生産設計工学コース

◀

総合理工学部
- 物質科学科
- 地球資源環境学科
- 数理・情報システム学科
- 機械・電気電子工学科
- 建築・生産設計工学科

物質科学科

物理分野

物理分野では、素粒子論から新素材開発まで、物質に関する幅広い教育・研究を行っています。物理学、材料科学に関する専門知識、技術、研究能力を持ち、物質科学の発展に寄与できる技術者、研究者の育成を目指します。教育プログラム「物理系コース」は、JABEEの認定を受けています。

化学分野

化学分野は、化学の基礎から応用まで深く学びたい人、新機能を持つ物質を研究したい人、応用技術を修得したい人のための教育を提供します。JABEE対応の教育プログラムに基づいた技術者養成を目指す「機能材料化学コース」、幅広い知識を基に多分野で活躍できる人材育成を目指す「基礎化学コース」があります。

地球資源環境学科

地球資源環境学科は、地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学の3教育分野からなり、地質学をベースとして、地球のなりたちや天然資源、自然災害工学等について総合的に教育・研究しています。本学科では、JABEE認定の技術者教育プログラムを実施し、また野外実習や実験を重視したカリキュラムを組んでいます。

数理・情報システム学科

数理分野

数理分野は、数理構造と数理解析の2コースから構成されます。1年次には数学と情報の基礎を、2年次以降に数理系の専門科目を学びます。数学の学習を通じて、論理的な思考力や柔軟な発想力、適切な判断力、そして豊かな表現力を持ち合わせた、教育を含む諸分野で指導的役割を果たせる人材を育成します。

情報分野

情報分野では情報システムコースと情報工学コースの2コースから構成されています。1年次に数学と情報の基礎を学び、2年次以降は主に情報工学に関連する専門科目を学びます。ソフトウェアやハードウェアの研究開発を通じて、国際的に通用する技術や幅広い見識を持ち合わせた人材の育成を行っています。

機械・電気電子工学科

機械・電気電子工学科は、機械工学、電気工学及び電子工学の3分野を融合した学科です。これらの分野の核心的基礎を幅広く学習した上で、さらに一分野について、より応用的・専門的な科目を深く学ぶことによって、激動の21世紀で活躍できる高い専門性を持った技術者の育成を目指しています。

建築・生産設計工学科

建築・生産設計工学科は、健康で快適な生活と、資源循環型社会の実現のために材料設計、プロセス設計（生産プロセス設計・循環プロセス設計）、製品設計（建築設計・機械設計）の全般に対応できる、広い知識と独創性を兼ね備えた人材の育成を目指して、JABEE認定を受けたコースを含め教育を行っています。

理工特別コース

「理工特別コース」は既存の5学科7分野を横断する総合理工学部の学部共通教育コースです。それぞれの学科・分野の教育活動と共同しながら、学科の枠を超えて学部の全教員の協力を得て学生の教育に当たります。AO入試の合格者及び各学科への入学者から選抜された優秀な学生に対し、1～2年次の連続したアクティブ・ラーニングセミナーと3年次の早期研究室配属を通して、入学時から継続的に理工系分野の研究面への興味・意欲、国際的視野を育む教育を行うことが、このコースの特徴です。

大学院

総合理工学研究科

《博士前期課程》■総合理工学専攻
○理工・医連携コース ○物理・材料科学コース ○物質化学コース ○地球資源環境学コース
○数理科学コース ○情報システム学コース ○機械・電気電子工学コース ○建築・生産設計工学コース
《博士後期課程》■総合理工学専攻
○理工学際創成コース ○数理・物質創成科学コース ○地球科学・地球環境コース ○機械電子情報工学コース

総合理工学研究科は現代社会の新たな要請に応えるため、博士前期課程と博士後期課程を平成24年から平成26年にかけて改組し、それぞれ1専攻8コース、1専攻4コースの教育体制に刷新しました。各コースでは、科学技術の総合化・理工融合という研究科の設置理念に則した教育を進め、新たな科学技術の創造に貢献できる人材を養成します。

本研究科では、既存の研究科の枠を超えた教育研究を推進する博士前期の「理工・医連携コース」と博士後期の「理工学際創成コース」、外国人留学生とともに修学する『英語による「地域」教育研究特別プログラム』を設置するなど、先進的教育を実践しています。

■総合理工学研究科HP http://shimane-riko.jp/graduate/index.html

生物資源科学部
生物資源科学研究科

Faculty of Life and Environmental Science
Graduate School of Life and Environmental Science

“いのち”あふれる地球を育む

本学部では、生物・生命を、人間社会と広範で多様な関係を有する存在という広い意味での資源と捉えます。そして生命現象の基本原理から、生物資源の育成、利用、開発保全とそれを育む環境に関する広い分野を教育研究の対象としています。

■ 生物資源科学部ホームページ
http://www.life.shimane-u.ac.jp/

生物資源科学研究科
- 生物生命科学専攻
- 農林生産科学専攻
- 環境資源科学専攻

▲▲

附属生物資源教育研究センター

生物資源科学部
- 生物科学科
- 生命工学科
- 農林生産学科
- 地域環境科学科

生物科学科

教育研究対象は、DNAやタンパク質などの分子レベルから、細胞レベル、組織・器官レベル、個体レベル、種レベルにいたる構造（形態）と機能（生理）、時間軸が重要な発生、遺伝、進化など非常に広い範囲に渡っています。これら多様な生物現象の不思議に触れ、解き明かす過程を経験してもらうことにより、論理的思考力、問題解決能力を身につけた社会人として活躍できる人材の育成を目的としています。

生命工学科

ライフサイエンスとバイオテクノロジーに関する幅広い知識と高度な専門技術を学びます。生物学と化学の知識を基盤に、遺伝子操作、生命情報解析、バイオイメージング、有機合成、分子構造解析等の最先端技術・機器を駆使して、微生物・動植物が持つさまざまな生命現象の基本的なメカニズムの解明とともに、生物の持つ有用機能を食品・化学、医薬等の生物産業と化学産業に役立てるための教育と研究を行っています。

農林生産学科

農林業生産による豊かな人間生活の実現を目指し、様々な問題を抱える農産物及び林産物に関する持続可能な生産技術、経営・経済、並びに生産環境を取り巻く生態系について教育と研究を行う学科です。豊かな自然環境に恵まれた山陰地域という立地条件を活かしたフィールド学習など幅広いカリキュラムを通して、農林業とそれを取り巻く生態系、地域社会について総合的に学ぶことができます。本学科は、農産物の生産とその品質・安全性など、国内外の農業生産現場が抱えている問題を解決するための理論と方法を学ぶ**農業生産学**、森林の生態と育成・保全、土壌・水環境、森林資源の林業機械による収穫、バイオマスエネルギー利用、リモートセンシングによる管理、森林に関する政策・経済について学ぶ**森林学**、植物・昆虫・微生物などが織りなす生命現象とその多面的な価値に注目し、持続可能な農林業と生態系や環境の保全・管理・活用に関する知識と技術を習得できる**農林生態科学**、国内外の農業・農村を主な対象とし、中山間地域の活性化問題や資源・環境問題、農業経営・市場問題などの社会経済問題を考察し、解決していくための手法について学ぶ**農村経済学**の4つの教育コースからなり、相互に連携しながら専門性を高める教育と研究を行っています。

地域環境科学科

環境に調和した循環型社会の確立をめざし、土・水・生物等の地域の資源及び環境を適切に調査・評価し、総合的に保全・管理するための知識と技術を習得する学科です。宍道湖・中海や中国山地などの豊かな自然と食糧生産の基盤である農山村地域をフィールドとして、実践的な教育を行います。本学科は、人と自然との共存や生態系の保全を目指し、生物が生息する水・土環境で生じる様々な現象とそのメカニズムを理解するための知識と方法を学習する**生態環境科学**、資源循環型社会の構築を目指し、地域資源の有効かつ持続的利用のための生態系の保全・修復技術を学習する**環境資源工学**、地域の豊かな生産環境・生活環境・自然環境を創造・管理・保全するための専門的な基礎学力と技術を、工学的な観点から習得する**地域工学教育コース**［JABEE（日本技術者教育認定機構）コース］の3つの教育コースを提供します。

附属生物資源教育研究センター

森林科学、農業生産科学、海洋生物科学の三部門からなり、島根県の豊かな自然と多様な生物のもたらす恵みを享受し利用するため、県中部及び西部に設けられた演習林、県東部、中部にある実験農場、隠岐の島にある臨海実験施設を活用して、自然への親しみ、実地体験、新たな発見に貢献できる教育研究を行っています。

大学院

生物資源科学研究科
●生物生命科学専攻 ●農林生産科学専攻 ●環境資源科学専攻

各専攻それぞれに「課題研究コース」、「学術研究コース」、「地域産業人育成コース」を設け、各人の志向に応じたカリキュラムの選択を可能にしています。課題研究コースでは多様な高度専門職業人を養成するための、学術研究コースでは連合大学院博士課程への進学等研究者を目指す人材を養成するための、また、地域産業人育成コースでは地域産業において指導的役割を果たす人材を養成するための教育プログラムを提供します。また、セメスター制の採用により秋入学を可能にし、社会人や留学生の利便性の向上を図っています。講義では研究科共通科目の必修科目として「科学方法論」や「生物資源科学論」を設け、総合科学的な視点を深めるとともに、専攻、コースに応じた研究や演習により、高い独創性と実践力、国際的な対応力を養っています。

■生物資源科学研究科HP http://www.life.shimane-u.ac.jp/daigakuin/index.html

山陰法科大学院

法務研究科 Graduate school of Law

社会人・未修者の教育へ力を発揮する山陰の法科大学院

島根大学大学院法務研究科（山陰法科大学院）は、地域社会の法化の進展に寄与すると共に、国際化時代にも対応できる、高度な法的思考力と知識を有する専門ジェネラリストとしての法曹の養成を基本理念にしています。

そのために教育面では、高度で多様な専門知識の修得のみならず、法曹として生涯役立つ法的知性の基礎作り、地域社会の紛争に敢然と立ち向かい解決への道筋を立てる意欲と熱意を育む教育を重視しています。

新司法試験に合格した修了生の多くは社会人と純粋未修者で、社会人と法学未修者向け教育に関して成果を上げており、本研究科の教育実践は2008年度及び2013年度の認証評価において、公益財団法人日弁連法務研究財団が定める法科大学院認証評価基準に適合していると認定されています。

なお、全国的な入学者激減傾向等を踏まえ平成27年度から募集停止を決めざるを得ませんでしたが、在学生全員が修了するまで本研究科は継続して法曹養成教育を行い、他大学との連合法科大学院構想の実現に向けて取り組んでいます。

●養成すべき法曹像（法科大学院の基本理念と教育目的）

①「国民の社会生活上の医師」として地域課題を熟知し、地域社会に深く根ざした法曹
②東アジアを中心とした各国法事情・国際取引等に精通し、国際社会の発展に貢献できる法曹

●カリキュラムの基本的な考え方

①基本的法律知識の体系的・理論的理解とともに、職業法曹としての倫理観を醸成する。
②入門科目の設置により、基本的な法概念、制度、法理論等を体系的に理解し、基礎的な法的思考力を身に付けることができ、講義形式を中心とした法律基本科目から演習形式の総合科目への移行をより効率的に行う。
③理論を踏まえつつ、実務への架橋を意識した教育を行うことにより、実務的課題への実践的取り組み方法を修得させる。
④先端応用領域における法的問題解決能力を身に付け、多様かつ地域独自の現代的課題に対応できる能力を磨く。

●社会人・法学未修者への配慮と法学既修者コース

新司法試験に合格した本研究科の修了生の多くが社会人と法学未修者で、すでに地元山陰で弁護士として活躍している修了生もいます。

本研究科では、社会人・未修者のかたができるだけ早く授業に取り組めるように、入学前に「法律学習導入教育講座」を開催し、授業開始に先立ち導入教育期間を設け、法のシステムや裁判制度の基本的な仕組み、法の役割・機能、法的思考方法の特徴やそれに必要とされる能力などについて学習しています。さらに、主要な法分野について「入門科目」を開講しています。

他方、法学につき十分な知識を有していると認められる既修者のかたのため、2年（法学既修者）コースを設けています。

●充実した学習環境と経済的支援

学生全員にキャレルが付与され、24時間使用できる学生研究室、図書、コピー機、法廷教室などが備わっており、充実した学習環境で法曹を目指し、学習に集中することができます。

また、鳥取・島根両県の若手弁護士がアカデミック・アドバイザーとして、本研究科の教員と連携協力して、学習相談や、教育支援を行っています。

本研究科独自の経済的支援制度として、「成績優秀者の入学料及び授業料の特別免除制度」（各学年5名を対象）を設けるなど、経済的支援も充実しています。

●地域法律相談センター

本研究科には、「地域法律相談センター」が設置されています。島根、鳥取両県の住民の皆様からの法律相談（無料）に実務家教員（弁護士）がお応えするにあたり、相談者の同意を得て学生も参加します。学生にとっては、地域において現実に起こっている法律問題を実感することができるとともに、相談者とのコミュニケーションの方法を実体験する貴重な機会となっています。

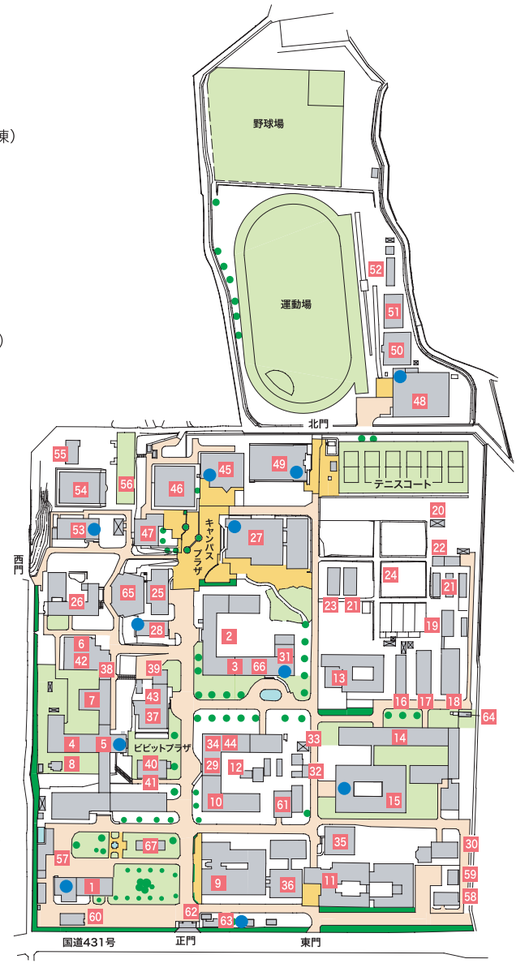
キャンパスマップ

グーグルストリートビューで、松江、出雲の各キャンパス内をご覧いただけます。

松江キャンパス

〒690-8504 松江市西川津町1060　TEL.0852-32-6100

1 本部棟
2 法文学部棟
3 山陰研究センター
4 教育学部棟
5 教育学部附属教育支援センター
6 教育学部附属教師教育研究センター
7 教育学部附属FD戦略センター
8 光物性実験室
9 総合理工学部1号館
10 総合理工学部2号館
11 総合理工学部3号館
12 動物飼育室
13 生物資源科学部1号館
14 生物資源科学部2号館
15 生物資源科学部3号館
16 水利実験室
17 農業機械実験室
18 林産加工場・実験動物飼育施設
19 製材加工室
20 器具庫
21 温室
22 動物実験飼育室
23 ガラス棟
24 圃場
25 教養講義室棟1号館
26 教養講義室棟2号館
27 附属図書館
28 保健管理センター
29 生涯教育推進センター
30 総合情報処理センター
31 汽水域研究センター
32 ミュージアム
33 古代出雲文化資料調査室
34 男女共同参画推進室
35 総合科学研究支援センター
遺伝子機能解析部門
RI実験施設
36 総合理工学部1号館（大学院棟）
37 学生センター
38 教育開発センター
39 入学センター
40 学生支援センター
41 キャリアセンター
42 外国語教育センター
43 国際交流センター
44 島根大学・寧夏大学
国際共同研究所（島根大学分室）
45 大学会館
46 第1食堂
47 第2食堂
48 第1体育館
49 第2体育館
50 トレーニングセンター
51 武道館
52 体育器具庫
53 課外活動共用施設
54 プール棟
55 弓道場
56 アーチェリー場
57 車庫
58 環境安全施設
59 焼却処理施設
60 特高受変電棟
61 ボイラー室
62 守衛室
63 中央監視室
64 薬品庫
65 大学ホール
66 山陰法実務教育研究センター
67 学生市民交流ハウス



●…AED設置場所

附属図書館

http://www.lib.shimane-u.ac.jp/

学内外の学術情報資源を最大限に利用するための機能を備えた大学の情報・資料センターとして、学習・教育・研究活動を支援しています。

本館（松江キャンパス）

本館は、平成25年4月にリニューアルオープンしました。入口に近い「交流ゾーン」には、明るく活気のある雰囲気の中で自由学習ができるラーニングコモンズや、新聞・雑誌を読みながらくつろげるコーナーを設けました。奥側の「学習ゾーン」「研究ゾーン」では、学習のための静かで落ち着いた環境を提供しています。閲覧室には個人机を多数設置し、図書や雑誌などの資料は、利用者に分かりやすい配置になっています。また、学習だけでなくリフレッシュのための設備も充実しました。

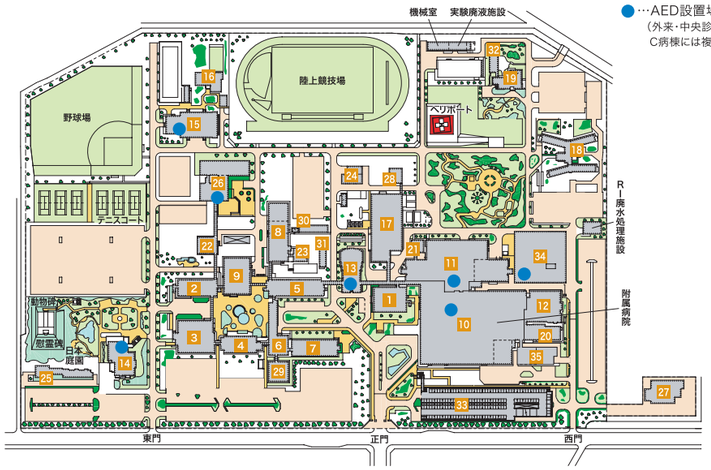
資料は、図書約78万3千冊、雑誌約1万2千誌を所蔵しています。学生用図書の整備に力を注ぐ一方、約1万2千タイトルの電子ジャーナルや各種データベース、Webコンテンツ等の電子媒体の学術情報も提供しています。41台のパソコンが自由に利用できるPCルームのほか、無線LANにより館内のほぼどこからでも電子情報にアクセスできます。

多様化する学術情報に応じた利用環境を提供するとともに、それらの情報資源を使いこなすための支援をしています。ガイダンスや講習会のほか、学生による図書館利用サポートも、学生目線を活かした活動として一役買っています。

キャンパスマップ

出雲キャンパス

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1　TEL.0853-23-2111



1 本部棟（医学部）
2 講義棟
3 実習棟
4 基礎研究棟
5 臨床研究棟
6 共同研究棟
7 第二研究棟
8 総合科学研究支援センター RI・動物実験施設
9 医学図書館
10 外来・中央診療棟
11 A・B病棟
12 RI高エネルギー棟
13 臨床講義棟
14 大学会館
14 保健管理センター（出雲保健センター）
14 食堂
15 体育館
16 武道館
17 中央機械室
18 看護師宿舎
19 医学部会館
20 MRI−CT装置棟
21 病歴室
22 第三研究棟
23 RI研究棟
24 塵芥焼却炉室
25 国際交流会館
26 看護学科棟
27 産学連携センター（地域医学共同研究部門）
28 特高受変電棟
29 第二共同研究棟
30 第三共同研究棟
31 第四共同研究棟
32 うさぎ保育所
33 立体駐車場
34 C病棟
35 みらい棟

附属図書館

http://www.lib.shimane-u.ac.jp/

学内外の学術情報資源を最大限に利用するための機能を備えた大学の情報・資料センターとして、学習・教育・研究活動を支援しています。

医学図書館（出雲キャンパス）

医学図書館は出雲キャンパスにあり、医学系専門図書館として、医学部の学生・教職員及び附属病院の医師、看護師、医療職員へ、学習・教育・研究支援のサービスを展開しています。ICカードによる開館時間外入館システムにより、出雲キャンパス所属者は24時間利用が可能で、夜遅くまで勉強する学生や、診療時間後に研究する教職員を日夜支援しています。資料は図書約13万3千冊、学術雑誌4千誌のほか、ビデオ、DVDも所蔵しており、松江キャンパスと同様の電子ジャーナル、各種文献データベース、Webコンテンツ等も提供しています。

医学図書館では、学術情報収集のスキル向上を目指して、学生・教職員向けに、授業に参加しての講習会、文献データベース検索講習会等を数多く開催しています。また、島根大学の地域への貢献として、医学専門資料を所蔵する図書館を一般市民の方にも広く公開しています。さらに、島根県内の医療関係機関等図書館（室）と連携しながら、関係職員の資質向上と地域医療従事者へのサービス向上にも努めています。

学内施設等

生涯教育推進センター

http://www.ercll.shimane-u.ac.jp/

地域の生涯学習の推進と市民の学習機会の拡充のため地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図りながら、地域社会の発展に寄与しています。

汽水域研究センター

http://www.kisuiiki.jp/

「人間社会とそれを取り巻く自然環境の持続的発展を可能にするための汽水域の保全と利用」を基本理念として、環境変動や生物多様性のメカニズムの解明、資源解析や保全再生に取り組んでいます。

ミュージアム（本館など）

http://museum.shimane-u.ac.jp/

永年の教育・研究によって収集・蓄積されてきた標本・資料類等を整理、保管、調査・研究し、展示公開や情報発信を行っています。なお、松江キャンパス内には、このほか山陰地域資料展示室等の展示スペースもあります。

国際交流センター

http://kokusai.shimane-u.ac.jp/

島根大学の全学的な国際交流活動の拠点として、市民、行政、産業界等の地域社会と協力し、海外の大学等関係機関との共同研究や留学生の受け入れ、島根大学の学生の海外派遣などを戦略的に推進します。

産学連携センター

http://www.crc.shimane-u.ac.jp/

松江地区

出雲地区

産学官連携の拠点として大学の総合的窓口機能を担い、民間等との共同研究、受託研究及び科学技術相談への対応、知的財産に関する相談及び企業・民間の技術者・医療技術者への教育等の業務を行っています。

- 地域産業共同研究部門
- 地域医学共同研究部門
- 連携企画推進部門
- 知的財産創活部門

山陰法実務教育研究センター

島根大学が有する知的資産を有効に活用し山陰地域における法実務教育を行うとともに、そのための教育プログラム及び教育研究体制に関する調査研究を行い、もって山陰地域における法学教育の充実発展に寄与します。

総合情報処理センター

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/

総合情報処理センターは、センターに置かれた情報処理システムを整備・運用し、学内外の情報ネットワークとの連携を図ることで、学内の教育・研究などの情報処理のための利用をサポートするとともに、学術情報システム等の開発や人材育成の支援を行っています。

外国語教育センター

http://cfle.shimane-u.ac.jp/

外国語教育の計画立案・運営・実施及びその点検評価を組織的に行うほか、外国語教育を通して、地域・社会貢献及び国際貢献に寄与することを目指しています。また、外国語教育センターワークステーションでは、くつろいだ自学自習の空間を提供しています。

サテライトミュージアム（島根大学旧奥谷宿舎）

http://museum.shimane-u.ac.jp/okudani.html

1924（大正13）年、島根大学の前身・旧制松江高等学校の外国人教師用に建てられた洋館で、国登録有形文化財に登録されています。展示やミニ教室、町歩き観光の拠点として活用されています。

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

【寧夏大学構内（中国寧夏回族自治区銀川市）】

http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp

研究所を拠点に、中山間地域の活性化、開発と環境問題、都市と農村の格差是正、環境教育の推進等を主要なテーマとして共同研究を行い、研究成果をアジアをはじめとする世界に向けて発信することを目指しています。

広島オフィス

http://www.shimane-u.ac.jp/facility/facilities/hiroshima_office/

島根大学の情報発信・交流の拠点として利便性の高い広島市街に設置。入学希望者への情報提供、企業採用や共同研究、学生の就職支援、医療職員の採用、卒業生・同窓会との連携強化など、利用者のニーズに対応した相談体制を整えています。

総合科学研究支援センター

http://www.shimane-u.ac.jp/から「病院・図書館・附属施設」をクリック

既存の研究分野の枠を超えた共同利用体制の整備を実現し、生命・環境・ニューマテリアルに関する先端的及び学際的な教育・研究を強力に支援するとともに、その成果を社会の発展のために還元しています。

- 遺伝子機能解析部門（RI実験施設）（松江）
- 物質機能分析部門（松江）
- 実験動物部門（出雲）
- 生体情報・RI実験部門（出雲）

学内施設等

大学会館

http://www.shimane-u.ac.jp/education/extra_curricular/extra_curri_facility/（松江キャンパス）

学生・教職員が相互交流できる場として、また学生の課外活動の場としても使用することができます。施設内では、書籍・文具及び日用品の販売、高速バス・ＪＲ乗車券の予約発券等のサービスも行っています。

食堂

http://www.shimane-u.ac.jp/education/welfare/cafeteria/（松江キャンパス）

松江キャンパスの第１食堂と出雲キャンパスの食堂は、朝食から夕食まで３食対応で自分でおかずを組み合わせて利用できます。松江キャンパスの第２食堂は、丼類やセルフバーなどを揃えた昼食対応の食堂です。

学生センター（松江キャンパス）

http://nyucen.shimane-u.ac.jp/（入学センター）

学内中央部に位置し、学生の修学上の支援・助言等を行っています。また、同センターには、教学企画IR室や入学センターも設置されています。

■教学企画IR室

教育の質保証・質向上に寄与することを目的とし、教育及び学生支援に関する諸データの統合的分析と情報提供・助言等を行っています。

■入学センター

島根大学における入学者選抜方法等の改善を図るため、入学試験の企画、広報、実施、評価、改善等を行っています。

学生支援センター

http://career.shimane-u.ac.jp/（キャリアセンター）

学生支援センター内の学生支援課では、課外活動、就職関係、授業料免除・奨学金等学生生活上の各種支援を行っています。また、同センターには、キャリアセンターや学生支援センターも設置されています。

■キャリアセンター

学生の職業・進路選択及び就職活動をより円滑に推進するため、就職情報の提供、就職相談、キャリア教育の企画・実施等を行っています。

■学生支援センター

学生支援センターでは課外活動への支援、経済的な支援、障がい学生への支援等、学生生活の充実を図ることを目的に、学生支援業務を総括的に取り扱っています。

保健管理センター

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/~health/（松江キャンパス）
http://www.med.shimane-u.ac.jp/health/index.html（出雲キャンパス）

心身ともに健康な生活が送れるよう、専門的立場から支援するサービス部門です。定期健康診断の実施、病気やケガの応急処置、健康相談や医療機関の紹介を行っています。いろいろな悩み事の相談には臨床心理士などの専門家が対応しています。身長、体重、血圧、視力測定が自由にできますので、日頃のヘルスチェックに役立ててください。

学生寮

http://www.shimane-u.ac.jp/education/welfare/residence/（松江キャンパス）

学生寮は、平成24年度からワンルーム形式のA棟（定員168名）が新築され入居可能となったのに続き、平成25年度から男子寮・女子寮を改修したB棟（定員91名）、C棟（定員59名）が完成し入居可能となりました。
住所／松江市西川津町字深町3371-1

教育開発センター

http://cerd.shimane-u.ac.jp/

島根大学における学生の学びの質を保証・向上するために、教育システムの構築やＦＤ、それらを支える各種調査、特色ある授業の創出や全学教育プログラムの企画・実施まで様々な学修支援に携わっています。

地域課題学習支援センター

島根大学が実施する「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」において、地域協創型人材養成のための地域課題解決型教育（PBL）を推進するとともに、自治体と連携し地域課題の解決に貢献することを目的に設置され、地域課題解決型教育のマネジメント、地域人材養成のための教育コンテンツ等の作成の業務を行います。

その他の地区

深町地区（学寮）

〒690-0823 松江市西川津町字深町3371-1　TEL.0852-21-3118

北陵地区（産学連携センター・松江キャンパス）

●地域産業共同研究部門・知的財産創活部門・連携企画推進部門
〒690-0816 松江市北陵町2　TEL.0852-60-2290

大輪地区（附属学校）

教育学部附属小学校／〒690-0882 松江市大輪町416-4　TEL.0852-29-1200
教育学部附属中学校／〒690-0824 松江市菅田町167-1　TEL.0852-29-1300
教育学部附属幼稚園／〒690-0882 松江市大輪町416-4　TEL.0852-29-1120

部　局　名		所　在　地	電話番号
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター			
本 部		〒690-1102　松江市上本庄町2059	0852-34-0311
森林科学部門	三瓶演習林	〒694-0003　大田市三瓶町多根941-1	0854-86-0011
農業生産科学部門	本庄総合農場	〒690-1102　松江市上本庄町2059	0852-34-0311
〃	神西砂丘農場	〒699-0822　出雲市神西沖町字蛇島2473-1	0853-43-2081
海洋生物科学部門	隠岐臨海実験所	〒685-0024　隠岐郡隠岐の島町加茂194	08512-2-1814
汽水域研究センター	中海分室	〒690-1401　松江市八束町江島字南土手附694	0852-76-9007
国際交流会館		〒690-0824　松江市菅田町字ドンド320	0852-25-9530

沿革

年　月	旧島根大学	旧島根医科大学
昭和24年　5月	旧制松江高等学校、島根師範学校、島根青年師範学校を母体として、文理学部、教育学部からなる新制大学として発足	
昭和40年　4月	島根県立島根農科大学を国立移管し、農学部を設置	
昭和41年　4月	保健管理センター設置	
昭和42年　6月	農学部附属農場・農学部附属演習林設置	
昭和46年　4月	大学院農学研究科設置（平成12年生物資源科学研究科に拡充改組）	
昭和50年　10月		島根医科大学設置
昭和53年　4月		RI 実験施設設置
昭和53年　6月	文理学部を改組し、法文学部と理学部設置	
昭和54年　4月	教育学部附属複式教育研究センター設置	医学部附属病院設置
昭和56年　4月		医学部附属動物実験施設設置
昭和57年　4月		大学院医学研究科博士課程設置
昭和58年　4月		医学部附属実験実習機器センター設置
昭和60年　4月	大学院理学研究科設置（平成12年総合理工学研究科に拡充改組）	
昭和63年　4月	大学院法学研究科設置（平成9年人文社会科学研究科に拡充改組）	
平成元年　4月	島根大学、鳥取大学、山口大学の協力のもとに 大学院連合農学研究科博士課程を鳥取大学に設置	
平成 2年　6月	遺伝子実験施設設置 教育学部附属教育実践研究指導センター設置	
平成 3年　4月	大学院教育学研究科設置	保健管理センター設置
平成 4年　4月	汽水域研究センター設置	
平成 5年　4月	生涯学習教育研究センター設置	
平成 6年　12月		情報ネットワークセンター設置
平成 7年　2月		特定機能病院として承認
平成 7年　10月	理学部と農学部を融合・改組し、総合理工学部と生物資源科学部設置	
平成 8年　5月	地域共同研究センター設置	
平成 9年　4月	大学院人文社会科学研究科設置 附属生物資源教育研究センター設置	
平成11年　4月		医学部看護学科設置
平成12年　4月	大学院総合理工学研究科設置 大学院生物資源科学研究科設置	
平成13年　4月	教育学部附属教育臨床総合研究センター設置 機器分析センター設置	地域医学共同研究センター設置
平成14年　4月	大学院総合理工学研究科を博士課程に改組 総合情報処理センター設置	
平成15年　4月		大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称し、看護学専攻（修士課程）設置

年　月	島根大学
平成15年　10月	旧島根大学と旧島根医科大学を統合し、新島根大学を設置 共同研究センター・総合科学研究支援センター設置
平成16年　3月	島根大学・寧夏大学国際共同研究所設置
平成16年　4月	国立大学法人法の施行により、国立大学法人島根大学となる 大学院法務研究科設置、大学院医学系研究科に医科学専攻（修士課程）を設置 教育学部附属教育支援センター設置、医学部教育企画開発室設置 外国語教育センター設置、法文学部山陰研究センター設置
平成16年　10月	共同研究センターを改組し、産学連携センターを設置、評価室設置、総合企画室設置
平成16年　12月	教育開発センター設置、入試センター設置
平成17年　3月	プロジェクト研究推進機構設置
平成17年　10月	キャリアセンター設置
平成18年　4月	ミュージアム設置、国際交流センター設置
平成19年　4月	教育学部附属教師教育研究センター設置
平成19年　6月	教育学部附属ＦＤ戦略センター設置
平成20年　7月	男女共同参画推進室設置
平成23年　4月	広報室設置
平成23年　10月	広島オフィス設置
平成25年　4月	センター機構化
平成25年　8月	みらい棟設置
平成25年　10月	地域課題学習支援センター設置
平成26年　2月	山陰法実務教育研究センター設置
平成26年　3月	総合企画室廃止
平成26年　4月	学生市民交流ハウス設置

学年暦

4月1日	学年始	9月30日	前期終	10月18日～19日	大学祭（出雲）
	前期始	10月1日	後期始	12月24日～1月4日	冬季休業
4月4日	入学式		開学記念日	3月16日	学位授与式（出雲）
8月6日～9月30日	夏季休業	10月12日～13日	大学祭（松江）	3月25日	学位授与式（松江）

沿革図

旧島根大学（昭和24年5月31日）

（文理学部の前身）
大9.11　松江高等学校（～昭25.3）

（教育学部の前身）
明8.4　島根県小学教員伝習所
明9.10　松江師範学校
明11.8　松江女子師範学校（～明14.8）
明17.7　島根県師範学校
明19.8　島根県尋常師範学校
明31.4　島根県師範学校
明36.4　島根県女子師範学校（～昭18.3）
昭18.4　島根師範学校（～昭26.3）

昭8.4　島根県立実業公民学校教員養成
昭9.4　島根県立青年学校教員養成所
昭19.4　島根青年師範学校（～昭26.3）

（農学部の前身）
昭22.9　島根県立農林専門学校
昭26.4　島根県立島根農科大学（昭40.4国立移管）

- 文理学部
  - 法文学部
  - 教育学部
    - 附属幼稚園
    - 附属小学校
    - 附属中学校
    - 附属複式教育研究センター
      - 附属教育実践研究指導センター
        - 附属教育臨床総合研究センター
  - 理学部
    - 附属臨海実験所
  - 総合理工学部
  - 生物資源科学部
    - 附属臨海実験所
    - 附属農場
    - 附属演習林
    - 附属生物資源教育研究センター
- 農学部
  - 附属農場
  - 附属演習林
- 文学専攻科（昭58.4～平9.3）
- 理学専攻科（昭45.4～昭60.3）
- 教育学専攻科（昭34.4～平6.3）
- 農学専攻科（昭44.4～昭46.3）
- 法学研究科 ―― 人文社会科学研究科
- 教育学研究科
- 理学研究科 ―― 総合理工学研究科
- 農学研究科 ―― 生物資源科学研究科
- 附属図書館
- 保健管理センター
- 遺伝子実験施設
- 汽水域研究センター
- 生涯学習教育研究センター
- 地域共同研究センター
- 機器分析センター
- 総合情報処理センター
- 事務局

旧島根医科大学（昭和50年10月1日）

- 医学部
  - 附属病院
  - 附属動物実験施設
  - 附属実験実習機器センター
- 医学研究科 ―― 医学系研究科
- 附属図書館（平15.10統合）
- 保健管理センター（平15.10統合）
- 情報ネットワークセンター
- 地域医学共同研究センター
- 事務局

新・島根大学（平成15年10月1日統合）

- 法文学部
- 教育学部
  - 附属教育臨床総合研究センター
  - 附属幼稚園
  - 附属小学校
  - 附属中学校
- 医学部
  - 附属病院
  - 情報ネットワークセンター
- 総合理工学部
- 生物資源科学部
  - 附属生物資源教育研究センター
- 人文社会科学研究科
- 医学系研究科
- 教育学研究科
- 総合理工学研究科
- 生物資源科学研究科
- 附属図書館
  - 医学分館
- 保健管理センター
- 生涯学習教育研究センター
- 総合情報処理センター
- 汽水域研究センター
- 共同研究センター
- 総合科学研究支援センター
- 事務局

国立大学法人・島根大学（平成16年4月1日法人化）

（学部）
- 法文学部
  - 山陰研究センター
- 教育学部
  - 附属教育支援センター
  - 附属教師教育研究センター
  - 附属FD戦略センター
  - 附属学校部
    - 附属幼稚園
    - 附属小学校
    - 附属中学校
- 医学部
  - 附属病院
  - 教育企画開発室
- 総合理工学部
- 生物資源科学部
  - 附属生物資源教育研究センター

（大学院）
- 人文社会科学研究科
- 教育学研究科
- 医学系研究科
- 総合理工学研究科
- 生物資源科学研究科
- 法務研究科

- 教育・学生支援機構
  - 教学企画IR室
  - 教育開発センター
  - 外国語教育センター
  - 生涯教育推進センター
  - 入学センター
  - キャリアセンター
  - 保健管理センター
  - 学生支援センター
- 研究機構
  - 戦略的研究推進センター
  - 汽水域研究センター
  - 産学連携センター
  - 総合科学研究支援センター
- 国際交流機構
  - 国際交流センター
  - 島根大学・寧夏大学国際共同研究所
- 学術情報機構
  - 附属図書館
    - 医学図書館
  - 総合情報処理センター
  - ミュージアム
- 地域課題学習支援センター
- 山陰法実務教育研究センター
- 事務組織
  - 広島オフィス

運営組織図

2014.4.1 現在

- 経営協議会
- 役員会
- 教育研究評議会
- 部局連絡協議会
- 学長選考会議

学長

- 学長特別補佐（大学改革担当）
- 学長特別補佐（広報担当）
- 学長特別補佐（研究戦略担当）
- 学長特別補佐（ＩＴ推進担当）

- 監事
  - 監査室
- 評価室
- 広報室
- 男女共同参画推進室

理事（企画・総務担当副学長）

総務部

儀式、利益相反・倫理保持、中期目標・中期計画・年度計画、企画全般、大学改革、広報・広聴、情報公開・個人情報保護、男女共同参画、ハラスメント、教員・職員人事、同窓会連携、労務管理、大学評価

- 総務課
  - 広島オフィス
- 人事労務課

理事（大学経営・財務担当）

財務部

大学経営、財務会計、施設・環境、危機管理対策、公的研究費の不正防止、労働安全衛生

- 財務課
- 経理・調達課
- 施設企画課
- 施設整備課

理事（教育・学生担当副学長）

教育・学生支援部

教育の推進、入学者選抜、教育環境整備、就職支援、学生生活・課外活動支援、教育の国際化、生涯学習

- 教育・入試企画課
- 学務課
- 学生支援課

理事（学術・国際担当副学長）

学術国際部

学術研究の推進、産学連携、知的財産管理、社会連携、国際交流、留学生支援、IT推進・情報セキュリティー

- 研究協力課
- 国際交流課
- 情報企画課
- 図書情報課

理事（医療担当、附属病院長）

理事（社会連携担当／非常勤）

社会連携

- 法文学部
  - 人文社会科学研究科
    - 山陰研究センター
  - 事務部
- 教育学部
  - 教育学研究科
    - 附属教育支援センター
    - 附属教師教育研究センター
    - 附属ＦＤ戦略センター
    - 附属幼稚園
    - 附属小学校
    - 附属中学校
  - 事務部
- 医学部
  - 医学系研究科
    - 教育企画開発室
  - 事務部
- 附属病院
  - 総務課
  - 会計課
  - 学務課
  - 医療サービス課
- 総合理工学部
  - 総合理工学研究科
  - 事務部
- 生物資源科学部
  - 生物資源科学研究科
    - 附属生物資源教育研究センター
  - 事務部
- 法務研究科
  - 事務部

- 教育・学生支援機構
  - 教学企画IR室
  - 教育開発センター
  - 外国語教育センター
  - 生涯教育推進センター
  - 入学センター
  - キャリアセンター
  - 保健管理センター
  - 学生支援センター
- 研究機構
  - 戦略的研究推進センター
  - 汽水域研究センター
  - 産学連携センター
  - 総合科学研究支援センター
- 国際交流機構
  - 国際交流センター
  - 島根大学・寧夏大学国際共同研究所
- 学術情報機構
  - 附属図書館
    - 医学図書館
  - 総合情報処理センター
  - ミュージアム
- 地域課題学習支援センター
- 山陰法実務教育研究センター

国立大学法人
島根大学運営組織図

役職員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員

2014.5.1 現在

学長

学長	小林祥泰

理事

理事（企画・総務担当副学長）	塩飽邦憲
理事（教育・学生担当副学長）	肥後功一
理事（学術・国際担当副学長）	竹内潤
理事（医療担当）	井川幹夫
理事（大学経営・財務担当）	辻敏明
理事（非常勤）（社会連携担当）	江口博晴

学長特別補佐

学長特別補佐（大学改革担当）	野中資博
学長特別補佐（大学改革担当）	野田哲夫
学長特別補佐（広報担当）	田坂郁夫
学長特別補佐（研究戦略担当）	藤田恭久
学長特別補佐（研究戦略担当）	浦野健
学長特別補佐（ＩＴ推進担当）	平野章二

監事

監事	千家充伸
監事（非常勤）	谷口博則

理事の下に置く部

理事（企画・総務担当）

総務部

総務部長	山本晃
総務課長	阿部祐一
人事労務課長	吉田隆司

理事（大学経営・財務担当）

財務部

財務部長	堀池幸浩
財務課長	門脇幸見
経理・調達課長	石飛寿実夫
施設企画課長	川本和弘
施設整備課長	青木勝幹

理事（教育・学生担当）

教育・学生支援部

教育・学生支援部長	為石勝美
教育・入試企画課長	為石勝美
学務課長	倉橋幸
学生支援課長	山崎幸司

理事（学術・国際担当）

学術国際部

学術国際部長	小村陽悦
研究協力課長	西田俊一
国際交流課長	土屋健一
情報企画課長	塩田芳夫
図書情報課長	田中俊二

監査室

室長	（空席）

学部・大学院

法文学部・人文社会科学研究科

学部長・研究科長	吹野卓
副学部長	出口顕
副学部長	野田哲夫
副学部長	武田信明
事務長	野津和男

教育学部・教育学研究科

学部長・研究科長	小川巌
副学部長	加藤寿朗
副学部長	河添達也
副学部長	福田哲之
副学部長	槇原茂
附属教育支援センター長	川路澄人
附属教師教育研究センター長	伊藤豊彦
附属FD戦略センター長	河添達也
附属学校部長	藤田英樹
附属幼稚園長	齋藤英明
附属小学校長	齋藤英明
附属中学校長	齋藤英明
事務長	石倉昭夫

医学部・医学系研究科

学部長・研究科長	大谷浩
副学部長	川内秀之
副学部長	内尾祐司
附属病院長	井川幹夫
副病院長	木下芳一
副病院長	山口修平
副病院長	秦美恵子
事務部長	藤原楠生
総務課長	林勝幸
会計課長	石井邦彦
学務課長	増田一雄
医療サービス課長	林元之

総合理工学部・総合理工学研究科

研究科長・学部長	服部泰直
副研究科長・副学部長	三瓶良和
副研究科長・副学部長	杉江実郎
副研究科長・副学部長	高須晃
副研究科長・副学部長	廣光一郎
事務長	門城祐司

生物資源科学部・生物資源科学研究科

学部長・研究科長	荒瀬榮
副学部長	浅尾俊樹
副学部長	松崎貴
副学部長	板村裕之
附属生物資源教育研究センター長	小葉田亨
事務長	原裕司

法務研究科

研究科長	朝田良作
事務長	野津和男

機構等

教育・学生支援機構

機構長	肥後功一
教学企画ＩＲ室長	松田岳士
教育開発センター長	平川正人
外国語教育センター長	西脇宏
生涯教育推進センター長	多々納道子
入学センター長	伊藤豊彦
キャリアセンター長	松崎貴
保健管理センター長	竹永三男
保健管理センター副センター長	江副智子
学生支援センター長	境英俊

研究機構

機構長	竹内潤
戦略的研究推進センター長	竹内潤
汽水域研究センター長	野村律夫
汽水域研究センター副センター長	荒西太士
産学連携センター長	大庭卓也
産学連携センター副センター長	並河徹
総合科学研究支援センター長	廣光一郎
総合科学研究支援センター副センター長	原田守

国際交流機構

機構長	竹内潤
国際交流センター長	安藤安則
島根大学・寧夏大学国際共同研究所長	伊藤勝久
島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長	一戸俊義
島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長	関耕平

学術情報機構

機構長	竹内潤
附属図書館長	田籠博
医学図書館長	廣田秋彦
総合情報処理センター長	會澤邦夫
総合情報処理センター副センター長	六井淳
ミュージアム館長	入月俊明
ミュージアム副館長	會下和宏

評価室

室長	塩飽邦憲

男女共同参画推進室

室長	塩飽邦憲

広報室

室長	塩飽邦憲

地域課題学習支援センター

センター長	野中資博

山陰法実務教育研究センター

センター長	朝田良作

経営協議会委員

学長	小林祥泰
理事（企画・総務担当副学長）	塩飽邦憲
理事（教育・学生担当副学長）	肥後功一
理事（学術・国際担当副学長）	竹内潤
理事（医療担当）	井川幹夫
理事（大学経営・財務担当）	辻敏明
理事（非常勤）（社会連携担当）	江口博晴
山陰中央テレビジョン放送株式会社代表取締役社長	有澤厚寛
一畑電気鉄道株式会社代表取締役社長	大谷厚郎
島根県立図書館長	大矢敬子
学校法人奈良学園理事（高等教育担当）	梶田叡一
特定非営利活動法人ＶＨＪ機構理事	近藤俊之
島根県弁護士会　弁護士	中村寿夫
キャスター・エッセイスト	福島敦子
松江市長	松浦正敬

教育研究評議会評議員

学長	小林祥泰
理事（企画・総務担当副学長）	塩飽邦憲
理事（教育・学生担当副学長）	肥後功一
理事（学術・国際担当副学長）	竹内潤
理事（医療担当）	井川幹夫
理事（大学経営・財務担当）	辻敏明
法文学部長	吹野卓
教育学部長	小川巌
医学部長	大谷浩
生物資源科学部長	荒瀬榮
総合理工学研究科長	服部直
法務研究科長	朝田作
附属図書館長	田籠博
産学連携センター長	廣田也
教授　法文学部	泰良哲
教授　法文学部	卓寿朗
教授　教育学部	哲達也
教授　教育学部	寿俊徹
教授　医学部	達裕一
教授　医学部	俊嘉之
教授　生物資源科学部	裕一弘
教授　生物資源科学部	嘉晃
教授　総合理工学研究科	一郎
教授　総合理工学研究科	

教職員数

2014.5.1 現在

区分			役員				教育職員											一般職員							医療職員			
			学長	理事	監事	小計	教授	准教授	講師	助教	助手	校長	副校長・副園長	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	小計	事務職員	技術職員	図書職員	技能職員	労務職員	教務職員	小計	医療技術職員	看護職員	小計	合計
学長			1			1												0							0			0	1
理事				6		6												0							0			0	6
監事					2	2												0							0			0	2
監査室						0												0	2						2			0	2
理事の下に置く部	総務部	総務部長				0												0	1						1			0	1
		総務課				0												0	19			1			20			0	20
		人事労務課				0												0	21						21			0	21
	財務部	財務部長				0												0	1						1			0	1
		財務課				0												0	10						10			0	10
		経理・調達課				0												0	16						16			0	16
		施設企画課				0												0	8	5			2		15			0	15
		施設整備課				0												0	1	14					15			0	15
	教育・学生支援部	教育・学生支援部長				0												0	1						1			0	1
		教育・入試企画課				0												0	9						9			0	9
		学務課				0												0	23						23			0	23
		学生支援課				0												0	15						15			0	15
	学術国際部	学術国際部長				0												0	1						1			0	1
		研究協力課				0												0	9	2					11			0	11
		国際交流課				0												0	5						5			0	5
		情報企画課				0												0	6	3					9			0	9
		図書情報課				0												0	4		15				19			0	19
法文学部						0	30	33	2									65	6						6			0	71
教育学部						0	42	28	12									82	12						12			0	94
	附属幼稚園					0							1		1	3	1	6							0			0	6
	附属小学校					0							1	2	1	19	1	24							0			0	24
	附属中学校					0						1	1	2	2	24	1	31							0			0	31
医学部						0	52	29	10	76	4							171	102	45		6		2	155			0	326
	附属病院					0	2	9	31	77								119	1	2		14			17	128	591	719	855
総合理工学研究科						0	52	43	7	16	1							119	8	3					11			0	130
生物資源科学部						0	31	39	2	18								90	11	12					23			0	113
法務研究科						0	8	5										13	2						2			0	15
教育・学生支援機構		教学企画ＩＲ室				0	1			1								2							0			0	2
		教育開発センター				0		1	1									2							0			0	2
		外国語教育センター				0	4	8										12							0			0	12
		生涯教育推進センター				0	1											1							0			0	1
		入学センター				0		2										2							0			0	2
		キャリアセンター				0	1			1								2							0			0	2
		保健管理センター				0	2	1										3							0	1	2	3	6
		学生支援センター				0	1											1							0			0	1
研究機構		戦略的研究推進センター				0			1									1							0			0	1
		汽水域研究センター				0	2	3										5							0			0	5
		産学連携センター				0	3	1										4							0			0	4
		総合科学研究支援センター				0	2	2		5	1							10							0			0	10
国際交流機構		国際交流センター				0	1											1							0			0	1
		島根大学・寧夏大学国際共同研究所				0												0							0			0	0
学術情報機構		附属図書館				0												0							0			0	0
		総合情報処理センター				0		1										1							0			0	1
		ミュージアム				0		1										1							0			0	1
評価室						0			1									1							0			0	1
男女共同参画推進室						0												0							0			0	0
広報室						0												0							0			0	0
地域課題学習支援センター						0												0							0			0	0
山陰法実務教育研究センター						0												0							0			0	0
合計			1	6	2	9	235	206	67	194	6	1	3	4	4	46	3	769	294	86	15	21	2	2	420	129	593	722	1,920

(注)1.理事及び監事には、非常勤の理事及び監事各1名を含む。2.病院診療職員は含まない。3.外国人研究員は含まない。

学部・大学院

■学部

学部	学科・課程	講座等
法文学部	法経学科	法経
	社会文化学科	社会文化
	言語文化学科	言語文化
教育学部	学校教育課程	初等教育開発、心理・発達臨床、言語文化教育、共生社会教育、数理基礎教育、自然環境教育、人間生活環境教育、健康・スポーツ教育、芸術表現教育
医学部	医学科	基礎医学系 解剖学、生理学、生化学、生命科学 臨床基礎医学系 薬理学、病理学、微生物・免疫学 社会医学系 法医学、環境保健医学、医療情報学、医療社会文化学 臨床医学系 内科学、皮膚科学、小児科学、外科学、整形外科学、脳神経外科学、泌尿器科学、精神医学、産科婦人科学、耳鼻咽喉科学、眼科学、放射線医学、麻酔科学、緩和ケア、歯科口腔外科学、臨床検査医学、救急医学、地域医療教育学、地域医療支援学、総合医療学、地域医療政策学
	看護学科	基礎看護学、臨床看護学、地域・老年看護学
総合理工学部	物質科学科	物質構造、物質設計、物質機能、量子物理、物質化学
	地球資源環境学科	地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学
	数理・情報システム学科	数理構造、数理解析、応用情報学、計算機科学
	機械・電気電子工学科	制御システム工学、計測システム工学、電気電子システム工学、電子デバイス工学
	建築・生産設計工学科	材料工学、機械加工システム学
生物資源科学部	生物科学科	生物科学教育コース
	生命工学科	生命工学教育コース
	農林生産学科	農業生産学教育コース、森林学教育コース、農林生態科学教育コース、農村経済学教育コース
	地域環境科学学科	生態環境科学教育コース、環境資源工学教育コース、地域工学教育コース

■大学院

研究科	専攻	講座等
人文社会科学研究科　修士課程	法経専攻	法政コース、地域経済コース
	言語・社会文化専攻	言語文化コース、社会文化コース
教育学研究科　修士課程	教育実践開発専攻	学習開発コース、臨床心理コース、発達臨床コース
	教育内容開発専攻	言語系教育コース、社会系教育コース、数理系教育コース、自然系教育コース、生活系教育コース、健康系教育コース、芸術系教育コース
医学系研究科　博士課程	医科学専攻	研究者育成コース、高度臨床医育成コース、地域がん専門医育成コース、総合診療医指導者育成コース
医学系研究科　修士課程	医科学専攻	総合医科学コース、がん専門薬剤師養成コース、地域医療支援コーディネータ養成コース、医療シミュレータ教育指導者養成コース
	看護学専攻	看護援助学コース、看護管理学コース、母子看護学コース、成人看護学コース、地域在宅看護学コース、高齢者看護学コース、老人看護CNSコース
総合理工学研究科　博士後期課程	総合理工学専攻	理工学際創成コース、数理・物質創成科学コース、地球科学・地球環境コース、機械電子情報工学コース
総合理工学研究科　博士前期課程	総合理工学専攻	理工・医連携コース、物理・材料科学コース、物質化学コース、地球資源環境学コース、数理科学コース、情報システム学コース、機械・電気電子工学コース、建築・生産設計工学コース
生物資源科学研究科　修士課程	生物生命科学専攻	課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース
	農林生産科学専攻	課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース
	環境資源科学専攻	課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース
法務研究科　専門職学位課程	法曹養成専攻	

附属図書館

■蔵書数

2014.5.1 現在

区　分	図書（冊）			雑誌（種）		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計
本館	629,400	154,094	783,494	8,461	2,948	11,409
医学図書館	66,019	66,189	132,208	2,239	1,719	3,958

■利用状況

区　分	入館者数	貸出冊数	図書の貸借		文献複写	
			貸出	借受	受付	依頼
本館	291,399	52,441	264	430	997	1,909
医学図書館	188,336	13,858	25	18	2,041	1,908

■閲覧座席

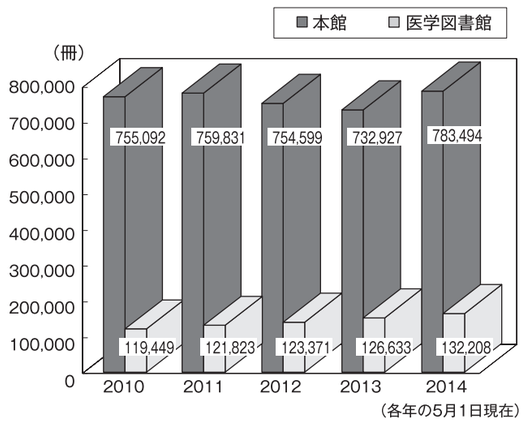
区　分	座席数	備考
本館	560	開架閲覧室298席、ロビー13席、ラーニングコモンズ80席、新聞･雑誌コーナー24席、ラウンジ17席、グループ学習室20席、AVルーム14席、PCルーム41席、研究個室8席、地域資料室4席、マイクロ資料室2席、書庫内15席、その他24席
医学図書館	309	開架閲覧室188席、文献検索コーナー 9席、セミナー室22席、自由閲覧室25席、ビデオ室12席、視聴覚室42席、アメニティコーナー 11席

■開館時間等

区　分	開館時間		休館日
	月曜～金曜	土曜・日曜・休日	
本館	8：30 ～ 21：30 （休業期は9：00 ～ 19：00 または9：00 ～ 17：00）	10：00 ～ 17：30 （休業期は休館）	休業期の土曜・日曜・休日 年末・年始（12月28日～ 1月4日） 夏季一斉休業期間（8月13日～ 15日） 上記のほか、資料整理のための臨時休館あり
区　分	開館時間		休館日
	月曜～金曜	土曜・日曜・休日	
医学図書館	9：00 ～ 20：00 （8月及び3月 9：00～17：00）	10：00 ～ 16：00	8月及び3月の土曜・日曜・休日 年末・年始（12月28日～ 1月4日） 夏季一斉休業期間（8月13日～ 15日） 医学図書館長が必要と認めた日

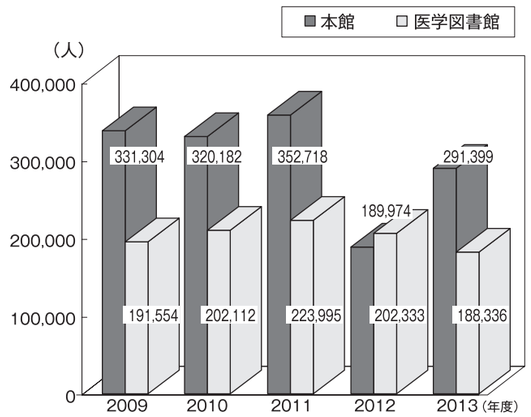
■蔵書数・利用状況の推移

●蔵書数（図書）



（各年の5月1日現在）

●利用状況（入館者数）



※本館では 2012 年度耐震改修工事のため入館者数が減少
※本館では 2013 年度から入館者数のカウント方式を変更

附属病院

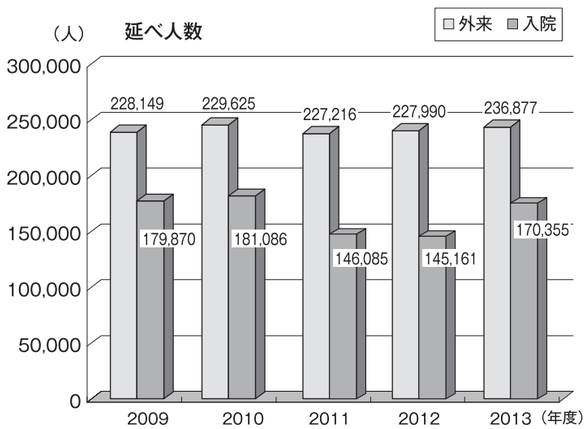
■附属病院患者数

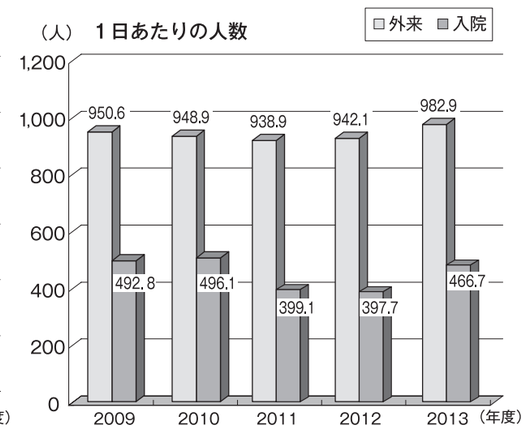
（2013.4.1～2014.3.31）

診療科名等	外来患者数		入院患者数	
	延数	1日平均数	延数	1日平均数
内分泌代謝内科	11,356	47.1	4,058	11.1
腫瘍・血液内科	5,481	22.7	11,253	30.8
消化器内科	10,081	41.8	8,934	24.5
肝臓内科	6,742	28.0	3,940	10.8
神経内科	7,859	32.6	9,096	24.9
膠原病内科	6,637	27.5	1,602	4.4
呼吸器・化学療法内科	7,746	32.1	9,370	25.7
腎臓内科	3,763	15.6	2,726	7.5
循環器内科	8,612	35.7	7,896	21.6
皮膚科	14,044	58.3	3,422	9.4
小児科	9,140	37.9	9,204	25.2
消化器外科	7,309	30.3	11,072	30.3
肝・胆・膵外科	1,772	7.4	3,785	10.4
小児外科	1,306	5.4	1,087	3.0
乳腺・内分泌外科	4,059	16.8	1,351	3.7
心臓血管外科	1,777	7.4	5,126	14.0
呼吸器外科	1,707	7.1	4,102	11.2
整形外科	17,279	71.7	14,571	39.9
脳神経外科	4,340	18.0	7,878	21.6
泌尿器科	14,809	61.4	10,954	30.0
精神科神経科	15,062	62.5	9,181	25.2
産科	3,921	16.3	3,651	10.0
婦人科	10,872	45.1	6,180	16.9
耳鼻咽喉科	6,819	28.3	7,037	19.3
眼科	20,896	86.7	7,102	19.5
放射線科	1,092	4.5	104	0.3
放射線治療科	5,163	21.4	29	0.1
麻酔科	6,632	27.5	2,049	5.6
救命救急センター	9,296	38.6	503	1.4
歯科口腔外科	10,194	42.3	3,085	8.5
顎顔面インプラントセンター	1,029	4.3	7	0.0
臨床検査科	82	0.3		
ICU			(2,830)	(7.8)
NICU			(1,935)	(5.3)
救命救急センター第1ユニット			(2,779)	(7.6)
救命救急センター第2ユニット			(1,994)	(5.5)
合　計	236,877	982.9	170,355	466.7

※ICU、NICU、救命救急ｾﾝﾀｰ第１ユニット・第２ユニットの患者数については、再掲で表示しております。

●患者数の推移





学生数

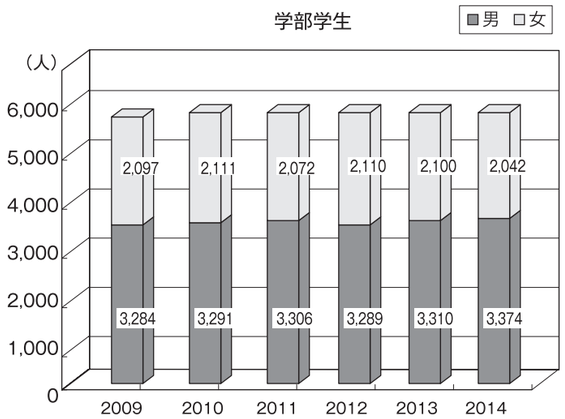
■学部

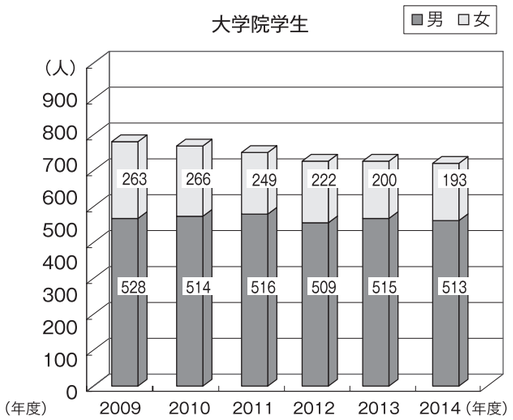
2014.5.1 現在

区分		入学定員	収容定員	現員 男	現員 女	現員 計
法文学部	法経学科	90	360	253 (3)	144 (1)	397 (4)
	社会文化学科	70	280	149 (2)	173 (4)	322 (6)
	言語文化学科	65	260	72 (4)	223 (3)	295 (7)
	計	225【10】	920	474 (9)	540 (8)	1,014 (17)
教育学部	学校教育課程	170	680	323	392	715
	計	170	680	323	392	715
医学部	医学科	102	603	401	255	656
	看護学科	60	240	27	229	256
	計	162【20】	903	428	484	912
総合理工学部	物質科学科	130	520	507 (5)	88 (2)	595 (7)
	地球資源環境学科	50	200	164	51 (1)	215 (1)
	数理・情報システム学科	100	400	370 (3)	73 (1)	443 (4)
	電子制御システム工学科	−	80	126 (1)	3	129 (1)
	材料プロセス工学科	−	40	40	8	48
	機械・電気電子工学科	80	240	241 (6)	8	249 (6)
	建築・生産設計工学科	40	120	95 (1)	36 (2)	131 (3)
	計	400【12】	1,624	1,543 (16)	267 (6)	1,810 (22)
生物資源科学部	生物科学科	30	120	77 (2)	52 (1)	129 (3)
	生態環境科学科	−	45	49 (2)	16	65 (2)
	生命工学科	40	160	101	84	185
	農業生産学科	−	30	21	21	42
	地域開発科学科	−	55	58 (1)	14 (2)	72 (3)
	農林生産学科	85	255	158 (1)	117 (1)	275 (2)
	地域環境科学科	45	135	108 (3)	37	145 (3)
	計	200【20】	840	572 (9)	341 (4)	913 (13)
合計		1,157【62】	4,967	3,340 (34)	2,024 (18)	5,364 (52)

注）1. 入学定員欄の【　】は、第３年次編入学定員で外数　2. 現員欄の（　）は外国人留学生で外数

●学部学生・大学院学生数の推移





■大学院

2014.5.1 現在

区分		入学定員	収容定員	現員 修士課程、博士前期課程 男	女	計	医学博士課程、博士後期課程 男	女	計	専門職学位課程 男	女	計	大学院計 男	女	計
人文社会科学研究科	法経専攻	6	12	3 (1)	1 (3)	4 (4)							3 (1)	1 (3)	4 (4)
	言語・社会文化専攻	6	12	7	4	11							7	4	11
	計	12	24	10 (1)	5 (3)	15 (4)							10 (1)	5 (3)	15 (4)
法務研究科	法曹養成専攻	20	60							16	3	19	16	3	19
	計	20	60							16	3	19	16	3	19
教育学研究科	教育実践開発専攻	20	40	13	18	31							13	18	31
	教育内容開発専攻	20	40	18	13 (1)	31 (1)							18	13 (1)	31 (1)
	計	40	80	31	31 (1)	62 (1)							31	31 (1)	62 (1)
医学系研究科	医科学専攻	15	30	23	15	38							23	15	38
	看護学専攻	12	24	3	23	26							3	23	26
	医科学専攻	30	120				88 (8)	34 (10)	122 (18)				88 (8)	34 (10)	122 (18)
	機能系専攻	−	−				2	1	3				2	1	3
	計	57	174	26	38	64	90 (8)	35 (10)	125 (18)				116 (8)	73 (10)	189 (18)
総合理工学研究科	総合理工学専攻	124	248	219 (12)	26 (4)	245 (16)							219 (12)	26 (4)	245 (16)
	計	124	248	219 (12)	26 (4)	245 (16)							219 (12)	26 (4)	245 (16)
	総合理工学専攻	12	12				7 (2)	2	9 (2)				7 (2)	2	9 (2)
	マテリアル創成工学専攻	−	12				6 (7)	1	7 (7)				6 (7)	1	7 (7)
	電子機能システム工学専攻	−	12				8 (2)	1 (1)	9 (3)				8 (2)	1 (1)	9 (3)
	計	12	36				21 (11)	4 (1)	25 (12)				21 (11)	4 (1)	25 (12)
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	20	40	25 (3)	15	40 (3)							25 (3)	15	40 (3)
	農林生産科学専攻	22	44	14 (3)	5 (1)	19 (4)							14 (3)	5 (1)	19 (4)
	環境資源科学専攻	18	36	20 (3)	8 (3)	28 (6)							20 (3)	8 (3)	28 (6)
	計	60	120	59 (9)	28 (4)	87 (13)							59 (9)	28 (4)	87 (13)
合計		325	742	345 (22)	128 (12)	473 (34)	111 (19)	39 (11)	150 (30)	16	3	19	472 (41)	170 (23)	642 (64)

注）現員欄の（　）は外国人留学生で外数

附属学校児童・生徒・幼児数

2014.5.1 現在

■附属幼稚園

区分		男	女	計
2年課程	4才児	17	21	38
	5才児	13	14	27
合計		30	35	65

■附属中学校

区分		男	女	計
1学年		68	65	133
2学年		67	67	134
3学年		69	69	138
特別支援学級	1学年	0	0	0
	2学年	0	0	0
	3学年	1	0	1
合計		205	201	406

■附属小学校

区分		男	女	計
1学年		30	30	60
2学年		35	22	57
3学年		28	32	60
4学年		32	28	60
5学年		30	29	59
6学年		32	28	60
特別支援学級	5年	0	0	0
	6年	0	0	0
合計		187	169	356

入試実施状況（2014年度入学）

■学部

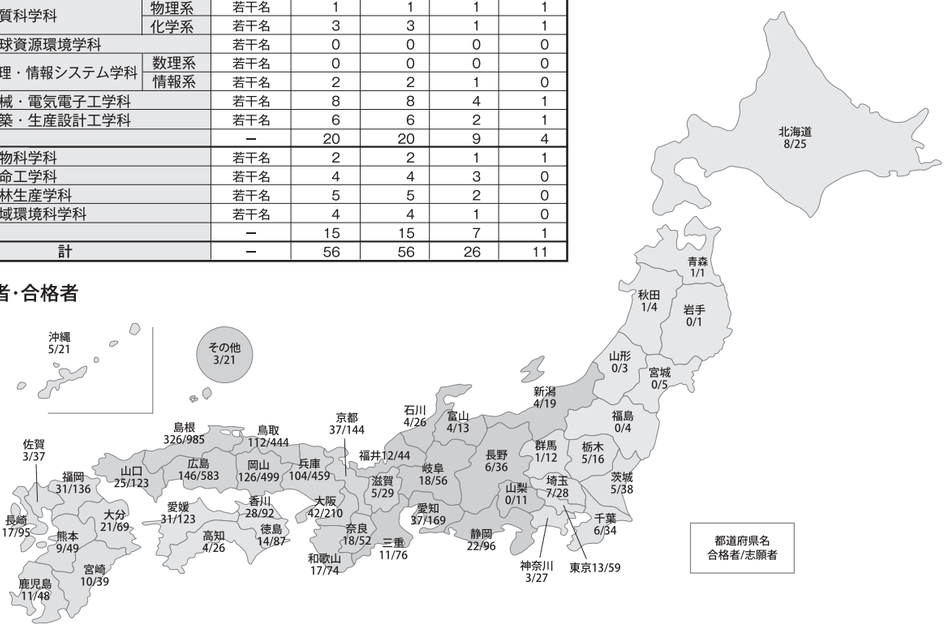
学部・学科・課程・専攻等			入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	入学者出身別（%） 県内	入学者出身別（%） 県外
法文学部	法経学科		90	646	308	111	97	29.0	71.0
	社会文化学科		70	521	302	83	72		
	言語文化学科		65	332	173	85	69		
	計		225	1,499	783	279	238	—	—
教育学部	学校教育課程Ⅰ類		170	292	230	139	135	43.2	56.8
	学校教育課程Ⅱ類	健康・スポーツ教育専攻		72	54	16	16		
		音楽教育専攻		32	32	17	17		
		美術教育専攻		28	28	9	8		
	計		170	424	344	181	176	—	—
医学部	医学科		102	537	494	102	102	38.3	61.7
	看護学科		60	229	129	65	60		
	計		162	766	623	167	162	—	—
総合理工学部	物質科学科		400	497	313	151	133	20.2	79.8
	地球資源環境学科			315	231	52	50		
	数理・情報システム学科			386	299	118	110		
	機械・電気電子工学科			215	152	84	80		
	建築・生産設計工学科			197	188	50	43		
	計		400	1,610	1,183	455	416	—	—
生物資源科学部	生物科学科		30	144	111	34	31	8.3	91.7
	生命工学科		40	299	253	44	42		
	農林生産学科		85	246	237	100	85		
	地域環境科学科		45	260	211	53	46		
	計		200	949	812	231	204	—	—
合　　計			1,157	5,248	3,745	1,313	1,196	25.8	74.2

注1. 私費外国人留学生入試、3年次編入学入試は含まない。

■私費外国人留学生入試

学部・学科等			募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科		若干名	4	4	3	2
	社会文化学科		若干名	7	7	4	2
	言語文化学科		若干名	10	10	3	2
	計		ー	21	21	10	6
総合理工学部	物質科学科	物理系	若干名	1	1	1	1
		化学系	若干名	3	3	1	1
	地球資源環境学科		若干名	0	0	0	0
	数理・情報システム学科	数理系	若干名	0	0	0	0
		情報系	若干名	2	2	1	0
	機械・電気電子工学科		若干名	8	8	4	1
	建築・生産設計工学科		若干名	6	6	2	1
	計		ー	20	20	9	4
生物資源科学部	生物科学科		若干名	2	2	1	1
	生命工学科		若干名	4	4	3	0
	農林生産学科		若干名	5	5	2	0
	地域環境科学科		若干名	4	4	1	0
	計		ー	15	15	7	1
合　　計			ー	56	56	26	11

●都道府県別志願者･合格者



■内 訳

（1）一般入試

学部・学科・課程・専攻等			試験日程	募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者
法文学部	法経学科		前	45	107	102	53	0	87
			後	35	520	187	48		
	社会文化学科		前	43	107	104	48	0	65
			後	20	387	171	28		
	言語文化学科		前	38	88	79	45	0	61
			後	20	217	67	32		
	計		計	201	1,426	710	254	0	213
教育学部	学校教育課程Ⅰ類		前	74	119	114	85	0	96
			後	16	76	23	15		
	学校教育課程Ⅱ類	健康・スポーツ教育専攻	前	8	26	26	8	0	12
			後	4	35	17	4		
		音楽教育専攻	前	10	16	16	10	0	10
		美術教育専攻	前	4	23	23	5	0	4
	計		計	116	295	219	127	0	122
医学部	医学科		前	62	398	357	62	0	62
	看護学科		前	32	74	56	37	1	43
			後	10	102	21	10		
	計		計	104	574	434	109	1	105
総合理工学部	物質科学科	物理受験コース	前	34	74	64	40	0	52
			後	15	102	32	22		
		化学受験コース	前	46	104	95	49	0	58
			後	10	150	55	17		
	地球資源環境学科		前	28	152	143	30	0	38
			後	10	132	57	10		
	数理・情報システム学科		前	51	148	139	66	0	80
			後	20	155	77	22		
	機械・電気電子工学科		前	35	67	62	36	0	50
			後	15	82	24	18		
	建築・生産設計工学科		前	23	114	105	29	0	27
			後	5	50	50	5		
	計		計	292	1,330	903	344	0	305
生物資源科学部	生物科学科		前	17	58	56	18	0	22
			後	5	60	29	7		
	生命工学科		前	29	212	202	32	0	36
			後	5	70	34	6		
	農林生産学科		前	54	165	157	61	2	67
			後	10	51	51	18		
	地域環境科学科		前	30	180	166	34	0	35
			後	5	61	26	8		
	計		計	155	857	721	184	2	160
合　　計			前	663	2,232	2,066	748	3	905
			後	205	2,250	921	270		
			一般入試合計	868	4,482	2,987	1,018	3	905

注1.「前」…前期日程「後」…後期日程

（2）専門高校・総合学科卒業生入試

学部・学科		募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者
医学部	看護学科	3以内	5	4	2	ー	2
合　　計		3以内	5	4	2	ー	2

（3）推薦入試Ⅰ

学部・学科・課程・専攻等			募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科		10	19	19	10	10
	社会文化学科		7	27	27	7	7
	言語文化学科		7	26	26	8	8
	計		24	72	72	25	25
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	自然環境教育専攻	4	11	11	4	4
		人間生活環境教育専攻	4	8	8	4	4
	学校教育課程Ⅱ類	健康・スポーツ教育専攻	4	11	11	4	4
		音楽教育専攻	6	16	16	7	7
		美術教育専攻	4	5	5	4	4
	計		22	51	51	23	23
総合理工学部	物質科学科	物理受験コース	5	17	17	8	8
		化学受験コース	4	20	20	4	4
	地球資源環境学科		7	19	19	7	7
	数理・情報システム学科	数理系コース	6	29	29	6	6
		情報系コース	10	14	14	10	10
	機械・電気電子工学科		15	47	47	16	16
	建築・生産設計工学科		11	31	31	14	14
	計		58	177	177	65	65
生物資源科学部	生物科学科		8	26	26	9	9
	生命工学科		6	17	17	6	6
	農林生産学科		21	29	28	18	18
	地域環境科学科		10	19	19	11	11
	計		45	91	90	44	44
合　　計			149	391	390	157	157

入試実施状況（2014年度入学）

（4）推薦入試Ⅱ

学部・学科等			募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
医学部	医学科		25以内	113	111	25	25
	看護学科		15	48	48	15	15
	計		40	161	159	40	40
総合理工学部	物質科学科	物理受験コース	10	8	8	7	7
		化学受験コース	4	19	19	4	4
	数理・情報システム学科	数理系コース	6	20	20	6	6
		情報系コース	5	20	20	8	8
	機械・電気電子工学科		14	17	17	14	14
	計		39	84	84	39	39
合　　計			79	245	243	79	79

（5）地域枠推薦入試

学部・学科		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
医学部	医学科	10以内	16	16	10	10
合　計		10	16	16	10	10

（6）緊急医師確保対策枠推薦入試

学部・学科		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
医学部	医学科	5以内	10	10	5	5
合　計		5以内	10	10	5	5

（7）アドミッション・オフィス入試

学部・学科・課程等			区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	文系型	AOⅡ	20	50	47	20	20
		理系型	AOⅡ	12	28	27	11	11
	計		—	32	78	74	31	31
総合理工学部	地球資源環境学科		AOⅠ	5	12	12	5	5
	理工特別コース		AOⅡ	6	7	7	2	2
	計		—	11	19	19	7	7
合　　計			AOⅠ	5	12	12	5	5
			AOⅡ	38	85	81	33	33
			AO入試合計	43	97	93	38	38

注1.「AOⅠ」…ＡＯ入試Ⅰ（センター試験を課さない）　「AOⅡ」…ＡＯ入試Ⅱ（センター試験を課す）

（8）社会人入試

学部・学科		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	若干名	0	0	0	0
	社会文化学科	若干名	0	0	0	0
	言語文化学科	若干名	0	0	0	0
合　計		—	0	0	0	0

（9）帰国生入試

学部・学科		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	推薦Ⅰと合計10	0	0	0	0
	社会文化学科	若干名	0	0	0	0
	言語文化学科	若干名	1	1	0	0
	計	ー	1	1	0	0
生物資源科学部	生物科学科	若干名	0	0	0	0
	生命工学科	若干名	0	0	0	0
	農林生産学科	若干名	1	1	1	0
	地域環境科学科	若干名	0	0	0	0
	計	ー	1	1	1	0
合　計		ー	2	2	1	0

■2015年度入試日程（予定）

区　分		募集要項発表	願書受付期間	試験実施日	合格発表
一般入試	前期日程	11月下旬	1/26～2/4	2/25･26	3/6
	後期日程			3/12	3/21
専門高校･総合学科卒業生入試（医学部　看護学科）				2/25･26	3/6
推薦入試Ⅰ（法文学部、教育学部、生物資源科学部）		7月下旬	11/4～11/10	11/22	12/2
推薦入試Ⅰ（総合理工学部）				11/21･22	
推薦入試Ⅱ（医学部）				12/6	2/10
推薦入試Ⅱ（総合理工学部）			1/19～1/23	2/6	
地域枠推薦入試（医学部　医学科）		4/7	11/4～11/10	12/6･7	2/10
緊急医師確保対策枠推薦入試（医学部　医学科）				12/6	
社会人入試（法文学部）		7月下旬		11/22	12/2
帰国生入試（法文学部、生物資源科学部）					
私費外国人留学生入試（法文学部、総合理工学部、生物資源科学部）			12/1～12/5	書類選考	1/23
AO入試Ⅰ（総合理工学部　地球資源環境学科）		6/27	8/1～8/7	9/22	10/3
AO入試Ⅱ（教育学部）		7/2	10/1～10/7	11/22	2/10
AO入試Ⅱ（総合理工学部　理工特別コース）		6/27	11/4～11/10		

■３年次編入学入試

学部・学科等			区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科		一般	10	8	5	2	2
	社会文化学科		一般		6	6	3	3
	言語文化学科		一般		17	15	7	6
	計		ー	10	31	26	12	11
医学部	医学科（学士入学）		一般	10	233	193	11	10
	看護学科		一般	10	19	18	4	1
	計		ー	20	252	211	15	11
総合理工学部	物質科学科	物理系	推薦	12	1	1	1	1
			一般		2	2	2	2
		化学系	推薦		0	0	0	0
			一般		0	0	0	0
	地球資源環境学科		一般		0	0	0	0
	数理・情報システム学科	数理系	一般		5	5	1	1
		情報系	推薦		1	1	0	0
			一般		4	3	1	1
	機械・電気電子工学科		推薦		3	3	0	0
			一般		16	15	7	6
	建築・生産設計工学科		推薦		1	1	1	1
			一般		3	3	2	2
	計		ー	12	36	34	15	14
生物資源科学部	生物科学科		推薦	20	0	0	0	0
			推薦２次		0	0	0	0
			一般		3	3	1	0
	生命工学科		推薦		0	0	0	0
			推薦２次		0	0	0	0
			一般		4	3	2	2
	農林生産学科		推薦		7	7	4	4
			推薦２次		4	3	2	2
			一般		13	13	5	0
	地域環境科学科		推薦		2	2	1	1
			推薦２次		1	1	0	0
			一般		2	2	2	1
	計		ー	20	36	34	17	10
合　　計			ー	62	355	305	59	46

■大学院

研究科・専攻等			募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
人文社会科学研究科（修士課程）	法経専攻		6	5	5	5	4
	言語・社会文化専攻		6	8	7	7	6
	計		12	13	12	12	10
教育学研究科（修士課程）	教育実践開発専攻		20	37	35	21	18
	教育内容開発専攻		20	24	24	22	21
	計		40	61	59	43	39
医学系研究科（修士課程）	医科学専攻		15	14	14	14	13
	看護学専攻		12	12	11	11	11
	計		27	26	25	25	24
医学系研究科（博士課程）	医科学専攻		30	31	30	28	28
	計		30	31	30	28	28
総合理工学研究科（博士前期課程）	総合理工学専攻	理工・医連携コース	6	2	2	2	2
		物理・材料科学コース	17	24	20	19	17
		物質化学コース	22	25	23	23	21
		地球資源環境学コース	16	9	9	9	9
		数理科学コース	13	22	19	19	17
		情報システム学コース	11	9	9	8	8
		機械・電気電子工学コース	29	28	28	28	28
		建築・生産設計工学コース	10	13	13	13	12
		計	124	132	123	121	114
総合理工学研究科（博士後期課程）	マテリアル創成工学専攻		6	4	4	4	4
	電子機能システム工学専攻		6	8	8	8	7
	計		12	12	12	12	11
生物資源科学研究科（修士課程）	生物生命科学専攻		20	17	16	15	14
	農林生産科学専攻		22	19	17	16	14
	環境資源科学専攻		18	20	20	20	20
	計		60	56	53	51	48
法務研究科	法曹養成専攻		20	12	12	5	3
	計		20	12	12	5	3
合　　計			325	343	326	297	277

卒業者数・修了者数

■学部

2014.3.31 現在

区分		2013年度卒業者	累計
法文学部	法経学科	90	596
	社会文化学科	72	488
	言語文化学科	65	1,107
	法学科	—	3,988
	社会システム学科	—	762
	文学科	—	1,586
	計	227	8,527
教育学部	学校教育課程	166	1,174
	学校教育教員養成課程	—	1,093
	生涯学習課程	—	527
	生活環境福祉課程	—	174
	小学校教員養成課程	—	4,790
	中学校教員養成課程	—	2,546
	養護学校教員養成課程	—	570
	幼稚園教員養成課程	—	574
	特別教科（音楽）校教員養成課程	—	1,152
	特別教科（保健体育）校教員養成課程	—	856
	社会教育文化課程	—	398
	計	166	13,854
医学部	医学科	94	3,159
	看護学科	70	815
	計	164	3,974
総合理工学部	物質科学科	108	1,748
	地球資源環境学科	42	640
	数理・情報システム学科	87	1,343
	電子制御システム工学科	76	1,060
	材料プロセス工学科	47	649
	計	360	5,440
生物資源科学部	生物科学科	30	445
	生態環境科学科	54	753
	生命工学科	46	608
	農業生産学科	28	498
	地域開発科学科	70	835
	計	228	3,139
文理学部		—	3,950
理学部		—	3,510
農学部		—	5,141
合計		1,145	47,535

■専攻科他

区分	2013年度修了者	累計
文学専攻科	—	18
理学専攻科	—	45
教育専攻科	—	232
農学専攻科	—	11
合計	—	306
教育学部 教員養成２年課程	—	1,106

■大学院

2014.3.31 現在

区分		2013年度修了者（単位取得退学含む）	累計
人文社会科学研究科	法経専攻	4	44
	言語・社会文化専攻	8	61
	法学専攻	—	56
	社会システム専攻	—	43
	言語文化専攻	—	32
	計	12	236
教育学研究科	教育実践開発専攻	19	83
	教育内容開発専攻	16	96
	学校教育専攻	—	187
	教科教育専攻	—	412
	計	35	778
医学系研究科（博士課程）	形態系専攻	—	163
	機能系専攻	2	178
	生態系専攻	—	56
	医科学専攻	32	73
	計	34	470
医学系研究科（修士課程）	医科学専攻	10	84
	看護学専攻	13	102
	計	23	186
総合理工学研究科（博士後期課程）	マテリアル創成工学専攻	10	72
	電子機能システム工学専攻	2	31
	計	12	103
総合理工学研究科（博士前期課程）	総合理工学専攻	99	99
	物質科学専攻	—	465
	地球資源環境学専攻	3	184
	数理・情報システム学専攻	—	275
	電子制御システム工学専攻	1	341
	材料プロセス工学専攻	—	133
	計	103	1,497
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	21	103
	農林生産科学専攻	8	61
	環境資源科学専攻	14	73
	生物科学専攻	—	71
	生態環境科学専攻	—	133
	生命工学専攻	—	110
	農業生産学専攻	—	66
	地域開発科学専攻	—	69
	計	43	686
法務研究科	法曹養成専攻	4	115
	計	4	115
理学研究科		—	616
農学研究科		—	739
法学研究科		—	80
合計		266	5,506

■博士の学位授与者数

2014.3.31 現在

区分	課程博士		論文博士	
	2013年度	累計	2013年度	累計
医学系研究科	18	426	6	301
総合理工学研究科	8	94	1	7

卒業・修了後の状況（2013年度）

■学部

2014.5.1 現在

区分		法文学部	教育学部	医学部	総合理工学部	生物資源科学部	計
卒業者		227	166	164	360	228	1,145
進学者		15	30	3	128	55	231
産業別内訳	農業、林業	1				7	8
	漁業						
	鉱業、採石業、砂利採取業						
	建設業	2	1		22	7	32
	製造業	5			45	24	74
	電気・ガス・熱供給・水道業	1			3	1	5
	情報通信業	12	4		23	4	43
	運輸業、郵便業	3			2		5
	卸売業、小売業	24	3		25	30	82
	金融業、保険業	27	3		6	9	45
	不動産業、物品賃貸業	1			5	1	7
	学術研究、専門・技術サービス業	5	1		14	3	23
	宿泊業、飲食サービス業	2	1		2	3	8
	生活関連サービス業、娯楽業	7	1		1	3	12
	教育（学校教育）	4	86	5	18	4	117
	学習支援	5	5		4	3	17
	医療、福祉	14	5	61	7	5	92
	複合サービス業	6			1	4	11
	その他のサービス業	5	1		9	5	20
	公務（国家）	12			2	6	20
	公務（地方）	33	8		10	25	76
	その他					1	1
就職者計		169	119	66	199	145	698
臨床研修医				85			85
無業者等		43	17	10	33	28	131

※「無業者等」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である。

■大学院

2014.5.1 現在

区分		人文社会科学研究科	教育学研究科	医学系研究科		総合理工学研究科		生物資源科学研究科	法務研究科	計
				修士	博士一貫	博士前期	博士後期			
修了者		12	35	24	34	103	12	43	4	267
進学者			2			10		7		19
産業別内訳	農業、林業							2		2
	漁業									0
	鉱業、採石業、砂利採取業									0
	建設業					8				8
	製造業			2		37		8		47
	電気・ガス・熱供給・水道業					3		1		4
	情報通信業	1				11		1		13
	運輸業、郵便業					1				1
	卸売業、小売業	1				1		5		7
	金融業、保険業							1		1
	不動産業、物品賃貸業									0
	学術研究、専門・技術サービス業	1			3	11	4	4		23
	宿泊業、飲食サービス業							1		1
	生活関連サービス業、娯楽業							1		1
	教育（学校教育）		19	5	4	8	2	1		39
	学習支援	1	1	1						3
	医療、福祉		8	13	21	1		1		44
	複合サービス業			1				1		2
	その他のサービス業		1			4	2			7
	公務（国家）	1						1		2
	公務（地方）					3		5		8
	その他									0
就職者計		5	29	22	28	88	8	33	0	213
無業者等		7	4	2	6	5	4	3	4	35

※「無業者等」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である。

●卒業後の主な就職先・進学先

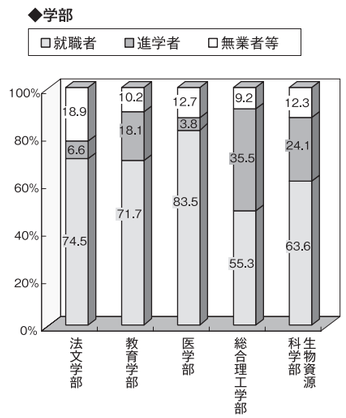
2014.5.1 現在

区分	就職先・進学先
法文学部	【就職先】イオンリテール、イズミ、NTT西日本、SMBCフレンド証券、おかやま信用金庫、北日本石油、紀陽銀行、光和インターナショナル、コスモス薬品、小西医療器、佐賀共栄銀行、JA愛媛中央会、JAつやま、JR西日本、小学館集英社プロダクション、全国健康保険協会、大黒天物産、大電、瀧定名古屋、豊田信用金庫、日通商事、日本赤十字社、バッケンモーツアルト、三菱電機住環境システムズ、マルイグループ、メガネの田中チェーン、山口フィナンシャルグループ、両備ヘルシーケア、和歌山県社会福祉協議会、ワキタ、国税庁（国税専門官）、大阪国税局、裁判所職員、国土交通省中国地方整備局、防衛省（自衛官・自衛隊）、岡山県庁、香川県庁、愛媛県庁、宮崎県庁、岡山市役所、山口県警、岡山市消防局、国立病院機構、地域医療機能推進機構、岡山大学 《地元企業等》出雲村田製作所、ウェルネス湖北、キヌヤ、三光、山陰合同銀行、山陰酸素工業、山陰中央新報社、JAいずも、JAくにびき、島根銀行、島根県民共済生活共同組合、島根トヨタグループ、中海テレビ放送、ティーエスケイエンタープライズ、ティーエスケイ情報システム、鳥取県信用保証協会、日本銀行松江支店、NOSAI島根、野村證券松江支店、皆美グループ、米子商工会議所、米子信用金庫、島根労働局、島根県庁、鳥取県庁、松江市役所、出雲市役所、島根県警、雲南市・飯南町事務組合、鳥取大学 【進学先】島根大学大学院、千葉大学大学院、岡山大学大学院、京都府立大学大学院、島根大学法科大学院、熊本大学法科大学院、早稲田大学法科大学院
教育学部	【学校関係等】（小学校）島根県、鳥取県、岡山県、広島県、兵庫県、神戸市（中学校）島根県、岡山県、広島県、山口県、兵庫県、神戸市（高等学校）島根県、広島県（特別支援）島根県、岡山県、広島県、鹿児島県（私立学校）学校法人大多和学園、学校法人永島学園、学校法人水谷学園（幼稚園・保育園）岡山市立幼稚園、広島市立保育園、出雲市立幼稚園、島根大学教育学部附属幼稚園 【企業等】アイレックス、セキスイハイム中四国、広島銀行、広島ホームテレビ、岡山県警、広島市役所、井原市役所、鳴門市役所 《地元企業等》島根銀行、みしまや、日本赤十字社島根県支部、日本ハイソフト、プロビズモ、米子信用金庫、島根県警、鳥取県警 【進学先】島根大学大学院、大阪教育大学大学院、兵庫教育大学大学院、岡山大学大学院
医学部	【医学科：臨床研修先】島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、浜田医療センター、益田赤十字病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、横浜市立大学附属病院、京都大学医学部附属病院、広島大学病院、岡山大学病院、九州大学病院　など 【看護学科：就職先】島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、出雲市民病院、松江赤十字病院、島根県（保健師）、島根県公立学校（養護教諭）、岡山大学病院、広島大学病院、神戸大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター　など
総合理工学部	【就職先】IHI、愛三工業、アイティフォー、アグレックス、アマダグループ、ALSOK、アルトナー、イオンディライト、伊藤園、インターネットイニシアティブ、NECネッツエスアイ、大塚商会、オハヨー乳業、関西電力、五洋建設、JR西日本、ジェイテクト、システムリサーチ、下津井電鉄、住友重機械工業、ゼンショー、大黒天物産、大成建設、大東建託、大和冷機工業、WDBホールディングス、中国電力、中電工、長府製作所、テイカ、東海理化電機製作所、東テク、豊田自動織機、日特建設、日本ベイント、日本工営、野村総合研究所、ハローズ、日立造船、FIELDS、ホーチキ、前田建設工業、三菱電機ビルテクノサービス、メイテック、やまびこ、北海道公立学校、愛知県公立学校、広島県公立学校、神戸市公立学校、国土交通省中国地方整備局、岐阜労働局、兵庫県庁、奈良県庁、熊本県庁、神戸市役所、京都府警 《地元企業等》井ゲタ竹内、出雲村田製作所、一条工務店山陰、一畑住設、ケイズ、気高電機、山陰合同銀行、山陰ステーション開発、JA共済連島根、JAバンク島根信連、島根自動機、しまね信用金庫、島根中井工業、島根富士通、ティーエスケイ情報システム、テクノプロジェクト、中筋組、ニッポー島根工場、日本コルマー、プロビズモ、松江赤十字病院、米子信用金庫、ワコムアイティ、島根県庁、大田市役所、島根県警、鳥取県西部広域行政管理組合 【進学先】島根大学大学院、東北大学大学院、東京工業大学大学院、名古屋大学大学院、金沢大学大学院、三重大学大学院、京都大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、九州大学大学院、慶應義塾大学大学院
生物資源科学部	【就職先】アマノ、アヲハタ、アンデルセングループ、EDIONグループ、大関、小倉屋昆布食品、広成建設、小西医療器、ザグザグ、JA兵庫南、JAまにわ、JAみえきた、シノブフーズ、社会保険診療報酬支払基金、新日本科学、生活協同組合コープこうべ、ソフトバンク・テクノロジー、第一三共、大黒天物産、大和ハウス工業、天満屋、東邦銀行、鳥越製粉、日本サンガリアベバレッジカンパニー、日本食研ホールディングス、日本生命保険、日本配合飼料、沼津信用金庫、野村證券、FIELDS、フジパングループ本社、ますやみそ、丸大食品、兵庫県公立学校、国土交通省中国地方整備局、近畿農政局、大阪国税局、防衛省（自衛官・自衛隊）、長野県庁、愛知県庁、岐阜県庁、大阪府庁、福岡県庁、神戸市役所、四国中央市役所、岡山県警 《地元企業等》アルファー食品、出雲環境技術センター、出雲村田製作所、ウェルネス湖北、コスモス薬品、寿製菓、三光、さんれいフーズ、JAいずも、JAくにびき、JAバンク島根信連、島根銀行、島根県保険医協会、しまね信用金庫、須山木材、東亜青果、日本海信販、フーズマーケットホック、プロビズモ、松江商工会議所、丸合、マルハマ食品、ミヨシ産業、島根県庁、島根県警、邑南町役場、しまね産業振興財団 【進学先】島根大学大学院、東北大学大学院、東京大学大学院、総合研究大学院大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、九州大学大学院、熊本大学大学院

＊順不同。大学院修了者の就職先含む。

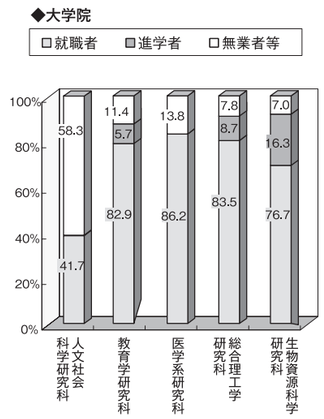
●卒業・修了後の状況（2014.5.1）

◆学部



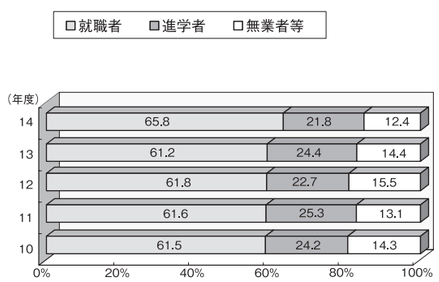
（注）医学部は、臨床研修医を含まない。

◆大学院



（注）法務研究科は含まない（修了者が少ないため）。

●卒業後の状況の推移（学部）



（注）各年度の5月1日現在のデータである。

公開講座・公開授業（2013年度）

■公開講座

…有料　…無料

	講　座　名	回数	総時間	募集人数	受講人数	開設場所	実施部局
前期	単結晶シリコン太陽電池の製作実習	1	8	20	10	松江キャンパス	総合理工学研究科
	硬式テニス教室	10	20	40	39	学内テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室1A	8	8	30	12	学内テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室1B	8	12	30	13	学内テニスコート	教育学部
	金曜日のドイツ語	8	8	20	21	松江キャンパス	外国語教育センター
	旬の果実でジャムづくり	3	9	16	20	本庄総合農場	生物資源科学部
	やさしいサツマイモ栽培	6	9	10	5	本庄総合農場	生物資源科学部
	季節の作物を収穫体験！	4	6	15	20	本庄総合農場	生物資源科学部
	泳げない子の水泳教室	5	15	20	13	学内プール	教育学部
	少しだけ泳げる子の水泳教室	5	15	20	21	学内プール	教育学部
	使ってみよう！ワープロソフト・ワード	4	8	25	10	松江キャンパス	生物資源科学部
	上級者へステップアップ！ワープロソフト・ワード	4	8	25	16	松江キャンパス	生物資源科学部
	食環境と健康　～脂質栄養と健康～ -食環境と健康-（雲南市会場）	1	2.5	200	90	チェリバホール	医学部
	食環境と健康　～脂質栄養と健康～ -環境と長寿-（松江市会場）	1	2.5	200	75	松江スティックビル	医学部
	誰でも参加できる糖尿病教室	3	3	20	17	出雲キャンパス	医学部
	山陰の古環境を探る	5	7.5	60	50	松江スティックビル	ミュージアム
	第９回島根まるごとミュージアム体験ツアー	1	9	40	35	江津市	ミュージアム
	サツマイモ・ダイコンを育てよう	6	12	25	26	神西砂丘農場	生物資源科学部
	親子で「遊力」と「農力」を楽しく結ぶ	3	7.5	20組(40)	59	本庄総合農場	生物資源科学部
	初めての蕎麦作り	5	11	20	20	神西砂丘農場	生物資源科学部
	汽水域の調査を体験してみよう	6	18	10	10	島根県東部の汽水域を含むエリア	汽水域研究センター
	感染症と生活環境～感染症入門　身のまわりの感染症～	3	4.5	40	19	出雲キャンパス	医学部
	理科実験講座１　自然の中の放射線	1	2.5	20	7	出雲科学館	総合科学研究支援センター
	理科実験講座２　台所は実験室	1	2.5	20	13	出雲科学館	総合科学研究支援センター
	夏休み子供科学教室	1	2	20	15	出雲キャンパス	医学部
	お口の探検ツアー	1	3	8	8	出雲キャンパス	医学部
	臨床法医学者の立場から「子ども虐待の発見と連携について」	1	2	50	12	松江スティックビル	医学部
後期	硬式テニス教室	10	20	40	43	学内テニスコート	教育学部
	こども硬式テニス教室２Ａ	8	8	30	11	学内テニスコート	教育学部
	こども硬式テニス教室２Ｂ	8	12	30	19	学内テニスコート	教育学部
	あなたのＩＴ力を証明する国家資格『ＩＴパスポート』試験支援講座	15	30	20	11	松江キャンパス	生涯教育推進センター
	仕事で使える『エクセル』上級スキルマスター　～コンピュータ・サービス技能評価試験２級の取得支援講座～	15	30	20	8	松江キャンパス	生涯教育推進センター
	版画講座ードライポイントプレートで凹凸版刷りを楽しもうー	5	10	7	6	松江キャンパス	教育学部
	金曜日のドイツ語　　Weiter gent's mit Deutsch!	8	8	20	17	松江キャンパス	外国語教育センター
	正月飾りを手作りしよう	3	7.5	20	13	本庄総合農場	生物資源科学部
	始めてみよう！表計算ソフト・エクセル	2	4	25	8	松江キャンパス	生物資源科学部
	日本の医療は安全か？	3	4.5	20	11	松江キャンパス	病院医学教育センター
	「国語」の世界の新展開	7	10.5	30	18	松江キャンパス	教育学部
	考古学・歴史学からみた先史・古代の「出雲」	7	10.5	60	50	松江スティックビル	ミュージアム
	インターネットサービスの発達と教育環境・生活環境への影響～利便性と危険性をはらんだICT社会～	1	2	20	2	松江キャンパス	生涯教育推進センター
	総合科学研究支援センター公開講演会「島根の科学ーおもしろい科学の話　8ー」	2	3	100	42	松江キャンパス・出雲キャンパス	総合科学研究支援センター
	松江地域文化を語る　松江地域在住外国人と語る	2	4	30	21	松江キャンパス	生物資源科学部
	キッズサイエンス　スクール　午前	3	6	15	14	松江キャンパス	教育学部
	キッズサイエンス　スクール　午後	3	6	15	8	松江キャンパス	教育学部
	人形浄瑠璃文楽の世界を知る	3	4.5	100	91	島根県民会館	生涯教育推進センター
	島大のブランド農産品「出雲おろち大根」「神在りの里」を味わう	1	2	20	8	松江市	生物資源科学部
	さあ，島根から世界へ！！	1	1.5	40	10	松江キャンパス	医学部

■公開授業

	講　座　名	曜日	時間	募集人数	受講人数	開設場所	実施部局
前期	東アジアのことばと文学	月	1・2時限	10	0	松江キャンパス	法文学部
	情報化社会と経済	月	7・8時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	汽水域の科学	火	3・4時限	10	3	松江キャンパス	汽水域研究センター
	細胞学	火	3・4時限	5	1	松江キャンパス	生物資源科学部
	山陰の歴史～古代・中世	火	5・6時限	10	6	松江キャンパス	法文学部
	心の世界	火	5・6時限	10	6	松江キャンパス	法文学部
	フランスの社会と文化	火	7・8時限	10	6	松江キャンパス	法文学部
	電気電子工学概論	火	9・10時限	5	0	松江キャンパス	総合理工学研究科
	古代出雲の考古学	水	3・4時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	王朝の文学	水	3・4時限	5	12	松江キャンパス	法文学部
	心の形成	木	7・8時限	10	7	松江キャンパス	法文学部
	文化人類学入門	木	9・10時限	10	2	松江キャンパス	法文学部
	環境の化学	金	1・2時限	10	0	松江キャンパス	総合理工学研究科
	エレクトロニクスのはなし	金	1・2時限	5	0	松江キャンパス	総合理工学研究科
	ユーラシアの歴史と民族	金	1・2時限	5	3	松江キャンパス	法文学部
	基礎社会学Ⅰ	金	3・4時限	5	0	松江キャンパス	法文学部
	アメリカ短篇小説を読む	金	3・4時限	3	5	松江キャンパス	法文学部
	日本人の宗教と死生観	金	5・6時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	基礎社会学Ⅱ	金	7・8時限	3	4	松江キャンパス	法文学部
	環境問題通論Ａ	金	9・10時限	10	0	松江キャンパス	教育学部
	基礎フィールド演習	集中講義(不定期)		3	0	フィールドワーク	生物資源教育研究センター
	歴史学概論	月	3・4時限	10	3	松江キャンパス	法文学部
	考古学概論Ⅰ	月	5・6時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	イギリス文学基礎演習Ⅰ	月	5・6時限	3	4	松江キャンパス	法文学部

	講　座　名	曜日	時間	募集人数	受講人数	開設場所	実施部局
前期	芸術学講義Ⅱ	月	5・6時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	生産技術基礎実習Ⅰ	月	7～9時限	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部
	基礎物理学ⅠＢ	月	9・10時限	3	1	松江キャンパス	総合理工学研究科
	木によるものづくり実習Ⅲ	月	9・10時限	5	2	松江キャンパス	教育学部
	共生社会史	火	1・2時限	5	2	松江キャンパス	教育学部
	日本史概説Ａ	火	1・2時限	10	8	松江キャンパス	法文学部
	地域産業特論	火	3・4時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	社会保障法	火	3・4時限	10	3	松江キャンパス	法文学部
	地誌学概説	火	3・4時限	10	0	松江キャンパス	教育学部
	木質建築学Ⅰ	火	3・4時限	20	12	松江キャンパス	総合理工学研究科
	地域産業論Ⅰ	火	5・6時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	共生社会演習（人文地理学）	火	5・6時限	10	0	松江キャンパス	教育学部
	財政学Ⅰ	火	5・6時限	10	0	松江キャンパス	法文学部
	固体物理学Ⅰ	火	5・6時限	3	1	松江キャンパス	総合理工学研究科
	日本語史講義	火	7・8時限	10	2	松江キャンパス	法文学部
	東洋史概説Ａ	火	7・8時限	5	2	松江キャンパス	法文学部
	日本文学史Ⅰ	火	9・10時限	10	1	松江キャンパス	教育学部
	耕地栽培学	水	1・2時限	5	0	松江キャンパス	生物資源科学部
	西洋史概説Ａ	水	3・4時限	10	3	松江キャンパス	法文学部
	植物細胞工学	水	5・6時限	5	0	松江キャンパス	総合科学研究支援センター
	自然地理学概論	木	1・2時限	5	0	松江キャンパス	法文学部
	農作業学	木	3・4時限	5	1	松江キャンパス	生物資源科学部
	フランス言語文化入門	木	3・4時限	10	6	松江キャンパス	法文学部
	労働法Ⅰ	木	3・4時限	10	1	松江キャンパス	法文学部
	金融論Ⅰ	木	7・8時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	生産技術基礎実習Ⅲ	木	7 ～ 9時限	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部
	人文地理学概説Ⅱ	木	9・10時限	10	0	松江キャンパス	教育学部
	果樹園芸学	金	3・4時限	3	3	松江キャンパス	生物資源科学部
	情報産業論	金	3・4時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	高分子科学	金	3・4時限	5	0	松江キャンパス	総合理工学研究科
	日本古典文学特殊講義	金	7・8時限	10	3	松江キャンパス	教育学部
	歴史学史料演習Ｇ	金	7・8時限	3	1	松江キャンパス	法文学部
	木によるものづくり実習Ⅰ	金	9・10時限	5	3	松江キャンパス	教育学部
後期	中国文学における風土と人間	月	1・2時限	10	0	松江キャンパス	法文学部
	異文化との出会い	月	1・2時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	現代経済へのアプローチ	月	5・6時限	5	6	松江キャンパス	法文学部
	考古学から見た古代山陰の世界	火	1・2時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	遺伝学	火	1・2時限	3	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	遺伝子を考える	火	3・4時限	5	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	地域づくり～地域教育の再生～	火	3・4時限	5	1	松江キャンパス	生涯教育推進センター
	汽水域の科学（応用編）	火	7・8時限	10	0	松江キャンパス	汽水域研究センター
	ヨーロッパの言語文化Ⅱ	火	7・8時限	10	8	松江キャンパス	法文学部
	環境問題通論Ｂ	火	9・10時限	10	0	松江キャンパス	教育学部
	動物の世界	木	3・4時限	5	1	松江キャンパス	生物資源科学部
	プレートテクトニクス	木	7・8時限	10	5	松江キャンパス	総合理工学研究科
	「酒」～一杯の酒から学問を覗く～	金	3・4時限	4	2	松江キャンパス	法文学部
	島大ミュージアム学	金	3・4時限	10	3	松江キャンパス	ミュージアム
	技術と社会	金	5・6時限	10	3	松江キャンパス	総合理工学研究科
	知ることと生きること	金	5・6時限	10	10	松江キャンパス	法文学部
	日本文学史Ⅳ	月	3・4時限	10	6	松江キャンパス	法文学部
	考古学概論Ⅱ	月	5・6時限	10	2	松江キャンパス	法文学部
	イギリス文学基礎演習Ⅱ	月	5・6時限	3	6	松江キャンパス	法文学部
	情報経済論	月	7・8時限	5	2	松江キャンパス	法文学部
	地域産業論Ⅱ	月	7・8時限	5	0	松江キャンパス	法文学部
	農業基礎実習Ⅱ	月	5 ～ 7時限	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部
	木によるものづくり実習Ⅱ	月	9・10時限	5	4	松江キャンパス	教育学部
	発生生物学	月	9・10時限	10	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	財政学Ⅱ	火	1・2時限	5	2	松江キャンパス	法文学部
	労働法Ⅱ	火	3・4時限	10	0	松江キャンパス	法文学部
	地方財政論	火	3・4時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	木質建築学Ⅱ	火	3・4時限	20	2	松江キャンパス	総合理工学研究科
	東洋史概説Ｂ	火	7・8時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	歴史学史料演習Ｄ	水	1・2時限	3	0	松江キャンパス	法文学部
	自然地理学特論	木	1・2時限	5	0	松江キャンパス	法文学部
	環境経済論Ⅱ	木	5・6時限	5	2	松江キャンパス	法文学部
	日本語学概論	木	5・6時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	風土環境論	木	7・8時限	10	1	松江キャンパス	教育学部
	金融論Ⅱ	木	7・8時限	6	1	松江キャンパス	法文学部
	農業基礎実習Ⅳ	木	5 ～ 7時限	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部
	木と木工の知識	木	7・8時限	5	2	松江キャンパス	教育学部
	経済学概論	金	3・4時限	5	3	松江キャンパス	法文学部
	日本文学史Ⅰ～王朝物語文学史とその周辺-前半-～	金	5・6時限	10	2	松江キャンパス	教育学部
	文化共生論～日本の王朝文学と「異界」～	金	7・8時限	10	1	松江キャンパス	教育学部
	歴史学史料演習Ｇ	金	7・8時限	2	1	松江キャンパス	法文学部

（※）1・2時限 8：30～10：00、3・4時限 10：15～11：45、5・6時限 12：45～14：15、7・8時限 14：30～16：00、9・10時限 16：15～17：45
（※）授業回数は14回です。

科学研究費補助金等の受入状況（2013年度）

■科学研究費補助金

研究種目	件数	金額（千円）
新学術領域研究	2	21,500
基盤研究（A）	3	21,412
基盤研究（B）	27	87,934
基盤研究（C）	123	139,711
挑戦的萌芽研究	22	19,538
若手研究（A）	1	11,710
若手研究（B）	72	68,557
研究活動スタート支援	3	2,200
特別研究員奨励費	10	7,085
奨励研究	4	1,792
研究成果公開促進費	1	2,337
計	268	383,776

■民間等との共同研究

件数	金額（千円）
97	124,272

■受託研究

件数	金額（千円）
81	199,464

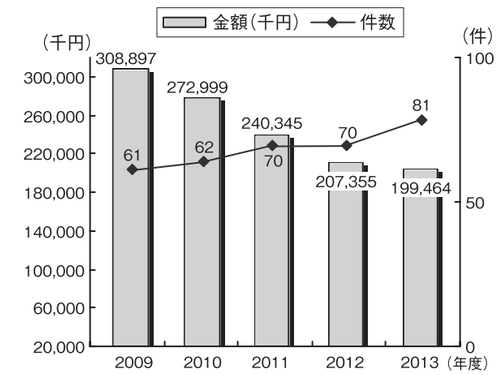
■寄付金

件数	金額（千円）
557	550,529

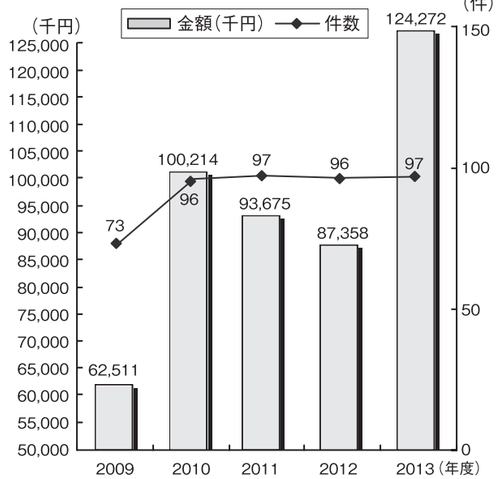
■発明届出等状況（2013年度）

発明届件数	出願件数
20	25

●科学研究費補助金受入状況

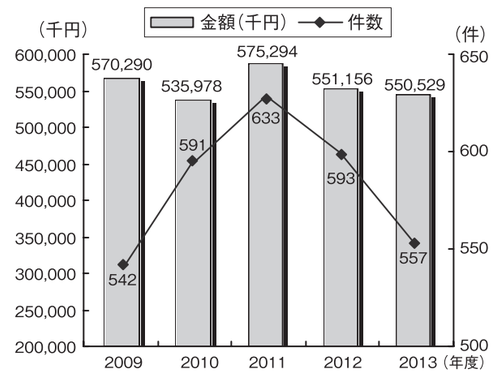


●民間等との共同研究実施状況



●受託研究受入状況

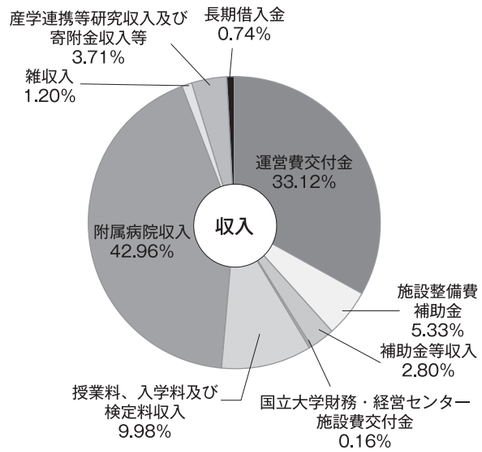
●寄付金受入状況



収入・支出決算額（2013年度）

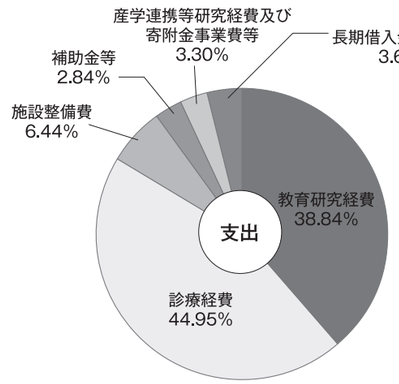
■収入

区　　分	金額（百万円）
運営費交付金	11,215
施設整備費補助金	1,805
補助金等収入	950
国立大学財務・経営センター施設費交付金	53
授業料、入学料及び検定料収入	3,380
附属病院収入	14,546
雑収入	406
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,257
長期借入金	250
合　　計	33,862

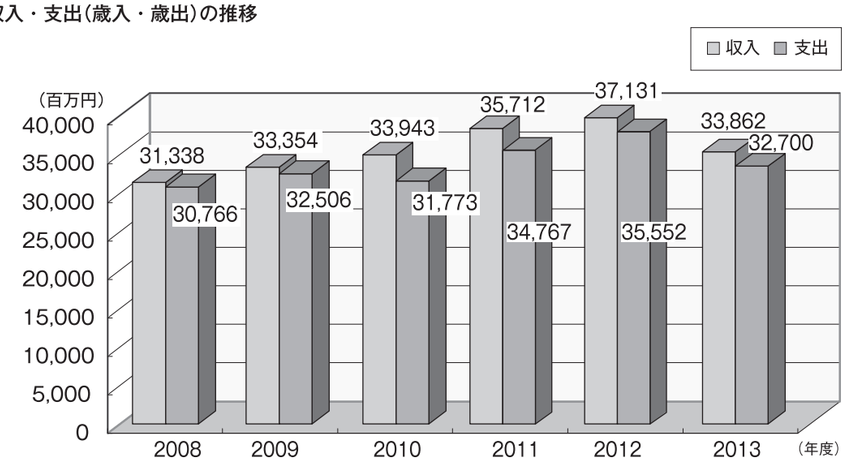


■支出

区　　分	金額（百万円）
教育研究経費	12,701
診療経費	14,698
施設整備費	2,108
補助金等	928
産学連携等研究費及び寄附金事業費等	1,078
長期借入金償還金	1,187
合　　計	32,700



●収入・支出（歳入・歳出）の推移

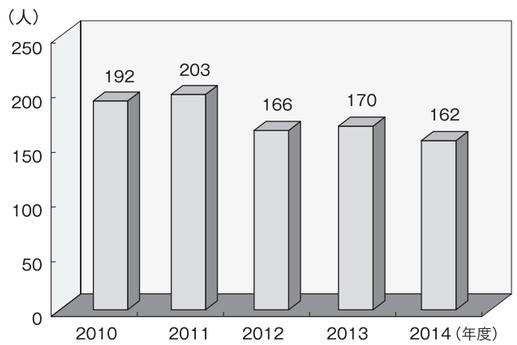


外国人留学生の受入状況

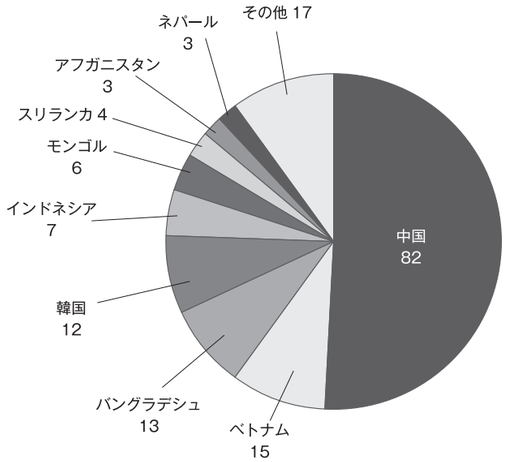
2014.5.1現在

学部等 / 国籍	法文学部 学部学生	法文学部 研究生等	法文学部 大学院学生	法文学部 集計	教育学部 研究生等	教育学部 大学院学生	教育学部 集計	医学部 研究生等	医学部 大学院学生	医学部 集計	総合理工学部 学部学生	総合理工学部 研究生等	総合理工学部 大学院学生	総合理工学部 集計	生物資源科学部 学部学生	生物資源科学部 研究生等	生物資源科学部 大学院学生	生物資源科学部 集計	鳥取大学連合農学研究科 大学院学生	鳥取大学連合農学研究科 集計	総計
中国	12	9	4	25	3	1	4	1	6	7	12	5	8	25	9	6	3	18	3	3	82
ベトナム					1		1				8		3	11	1		1	2	1	1	15
バングラデシュ									7	7			1	1			1	1	4	4	13
韓国	5	2		7							1		1	2	2			2	1	1	12
インドネシア		1		1					1	1			1	1	1		1	2	2	2	7
モンゴル									4	4			2	2							6
スリランカ													4	4							4
アフガニスタン																	3	3			3
ネパール													1	1			1	1	1	1	3
ギニア													2	2							2
ブラジル												2		2							2
キルギス													2	2							2
フランス		2		2																	2
ホンジュラス																	1	1			1
コロンビア													1	1							1
ソロモン諸島																	1	1			1
タイ													1	1							1
マレイシア											1			1							1
ナイジェリア													1	1							1
ラオス					1		1														1
キューバ																			1	1	1
エジプト																	1	1			1
総計	17	14	4	35	5	1	6	1	18	19	22	7	28	57	13	6	13	32	13	13	162

●留学生数の推移



●留学生の国籍内訳



外国への留学状況

■島根大学から留学した学生の数（2012年度）
（留学、語学研修、異文化研修、学会、フィールド調査等を含む）

1．派遣先別

アメリカ	47
ニュージーランド	32
中国	20
韓国	13
香港	12
オーストラリア	3
カナダ	3
イギリス	3
ドイツ	3
ネパール	2
台湾	2
インドネシア	2
マレーシア	2
モンゴル	1
フランス	1
合計	146

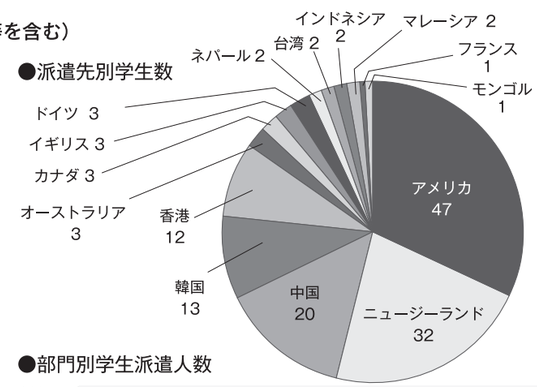
2．部門別

法文学部 人文社会科学研究科	26
教育学部 教育学研究科	30
医学部 医学系研究科	32
総合理工学部 総合理工学研究科	3
生物資源科学部 生物資源科学研究科	11
法務研究科	0
国際交流センター主催（※）	44
合計	146

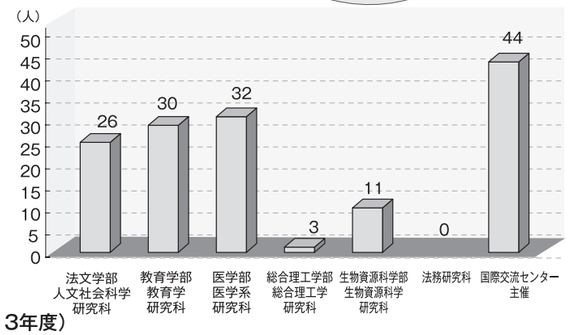
※国際交流センター主催事業参加者内訳

法文学部	11
教育学部	5
医学部	0
総合理工学部	7
生物資源科学部	21
合計	44

●派遣先別学生数



●部門別学生派遣人数



■島根大学から交流協定校に交換留学した学生の数（2013年度）

派遣先	法文学部	教育学部	医学部	総合理工学部	生物資源科学部	総計
アメリカ	1	2	0	0	0	3
中国	1	0	0	0	0	1
フランス	1	0	0	0	0	1
ドイツ	3	0	0	0	0	3
インドネシア	0	0	0	0	1	1
総　　計	6	2	0	0	1	9

奨学生数

2014.3.1現在

区　　分		学生数	日本学生支援機構 第一種(注1)	日本学生支援機構 第二種(注1)	日本学生支援機構 計(注2)	比率
法文学部		991	210	301	473	47.7
教育学部		709	153	230	357	50.4
医学部		743	147	208	310	41.7
総合理工学部		1,756	380	543	863	49.1
生物資源科学部		936	215	301	465	49.7
計		5,135	1,105	1,583	2,468	48.1
人文社会科学研究科		14	4	1	4	28.6
教育学研究科		54	16	1	17	31.5
医学系研究科	博士課程	128	4	2	6	4.7
	修士課程	66	4	1	4	6.1
総合理工学研究科	博士前期課程	236	131	17	137	58.1
	博士後期課程	22	9	1	10	45.5
生物資源科学研究科		86	52	0	52	60.5
法務研究科		22	10	3	11	50.0
計		628	230	26	241	38.4
合　　計		5,763	1,335	1,609	2,709	47.0

(注1)併用貸与者を含むのべ数　(注2)併用貸与者を含む実数

定期刊行文献

●学術雑誌

発行部局等名	文　献　誌　名	編集	発行回数(年)
法文学部	島大法学	法経学科・法務研究科	4
	経済科学論集	法経学科	1
	社会文化論集	社会文化学科	1
	島根大学社会福祉論集	社会文化学科福祉社会教室	不定期
	島大言語文化	言語文化学科	2
	山陰研究	山陰研究センター	1
教育学部	島根大学教育学部紀要（教育科学、人文・社会科学、自然科学）	教育学部	1
	島根大学教育臨床総合研究	教育学部附属教育支援センター	1
	島根大学教育学部心理臨床・教育相談室紀要	教育学部心理臨床・教育相談室	1
	附属小学校研究紀要	附属小学校	1
	附属中学校研究紀要	附属中学校	1
	附属学校園研究紀要	附属学校園	1
医学部	島根大学医学部紀要，Shimane Journal of Medical Science	医学部	2
総合理工学部	島根大学総合理工学部紀要	総合理工学部	1
	島根大学地球資源環境学研究報告	総合理工学研究科地球資源環境学教室	1
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部研究報告	生物資源科学部	1
法務研究科	島根大学法文学部紀要法経学科・法務研究科篇〔島大法学〕	法文学部法経学科・法務研究科	4
外国語教育センター	島根大学外国語教育センタージャーナル	外国語教育センター	1
生涯教育推進センター	島根大学生涯学習研究センター年報	生涯教育推進センター	1
汽水域研究センター	島根大学研究機構汽水域研究センター年次報告	研究機構汽水域研究センター	1
総合科学研究支援センター	島根大学研究機構総合科学研究支援センター教育研究活動報告	研究機構総合科学研究支援センター	1
島根大学・寧夏大学国際共同研究所	島根大学・寧夏大学国際共同研究所年報	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	1
	島根大学・寧夏大学国際共同研究所パンフレット	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	不定期

●広報紙等

発行部局等名	文　献　紙　名	編集	発行回数(年)
総務課	島根大学概要	広報室	1
	島根大学案内	広報室	1
	広報しまだい	広報室	4
法文学部	島根大学法文学部（学部案内）	法文学部	1
教育学部	島根大学教育学部（学部案内）	教育学部	1
	ShimanEdu.[シマネージュ]	教育学部	不定期
	島根大学大学院教育学研究科案内	教育学部	1
	1000 時間体験学修	教育学部附属教育支援センター	1
	島根大学教員免許状更新講習パンフレット	教育学部附属教師教育研究センター	1
	こころとそだちの相談室	教育学部心理・発達臨床相談室	1
	園要覧（附属幼稚園）	附属幼稚園	1
	おりづる	附属幼稚園	4
	学校要覧（附属小学校）	附属小学校	1
	附小だより	附属小学校	11
	ちどり	附属小学校	3
	学校要覧（附属中学校）	附属中学校	1
	SCHOOL　GUIDE	附属中学校	1
	若樹	附属中学校	3
	学校園要覧	附属学校園	1
	附属学校園だより	附属学校園	3
医学部	島根大学医学部（学部案内）	医学部	1
医学部附属病院	しろうさぎ	附属病院	4
	病院ニュース	附属病院	12
総合理工学部	島根大学総合理工学部（学部案内）	総合理工学部	1
	理工特別コースパンフレット	総合理工学部	1
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部（学部案内）	生物資源科学部	1
	生物資源科学部だより	生物資源科学部	2
法務研究科	島根大学大学院法務研究科（山陰法科大学院）地域法律相談センター案内	法務研究科	1
教学企画ＩＲ室	島根大学卒業生・修了生に対する教育成果の検証に関する調査報告書	教学企画ＩＲ室	不定期
教育開発センター	島根大学教育開発センター年報	教育開発センター	不定期
	初年次教育プログラムパンフレット	教育開発センター	不定期
	島根大学優良教育実践表彰者の声	教育開発センター	1
生涯教育推進センター	島根大学生涯教育推進センター年報	生涯教育推進センター	1
	島根大学生涯教育推進センターパンフレット	生涯教育推進センター	不定期
キャリアセンター	島根大学キャリアセンター年報	キャリアセンター	1
	就活ハンドブック	キャリアセンター	1
	島大就活日記	キャリアセンター	1
	企業就職担当者向けパンフレット	キャリアセンター	1
保健管理センター	保健管理センターのしおり（松江）	保健管理センター松江	1
	保健管理センターのしおり（出雲）	保健管理センター出雲	1
産学連携センター	島根大学研究シーズ集	産学連携センター	不定期
	島根大学産学連携センター年報	産学連携センター	1
	島根大学産学連携センター・ニュースレター	産学連携センター	1
国際交流センター	SHIMANE UNIVERSITY PROSPECTUS	国際交流センター	1
	大学指南（中国語版大学概要）	国際交流センター	不定期
	島根大学リーフレット	国際交流センター	不定期
附属図書館	島根大学附属図書館概要	図書情報課	3 年毎
	島根大学附属図書館年報	図書情報課	1
	島根大学附属図書館報：淞雲	図書情報課	2
	本館ニュース「ＬｉＭｅ　ライム」	図書情報課	毎月
	医学図書館ニュース「インフォ・アクセス」	図書情報課	毎月
総合情報処理センター	島根大学総合情報処理センター（概要）	総合情報処理センター	不定期
	島根大学総合情報処理センター・News Letter	総合情報処理センター	1
ミュージアム	島根大学ミュージアム・ニュースレター	ミュージアム	不定期
	島根大学ミュージアム年報	ミュージアム	1
男女共同参画推進室	島根大学男女共同参画推進室メールマガジン［さぼっと通信］	男女共同参画推進室	不定期
	島根大学男女共同参画推進室事業報告書	男女共同参画推進室	不定期

土地・建物

2014.5.1 現在

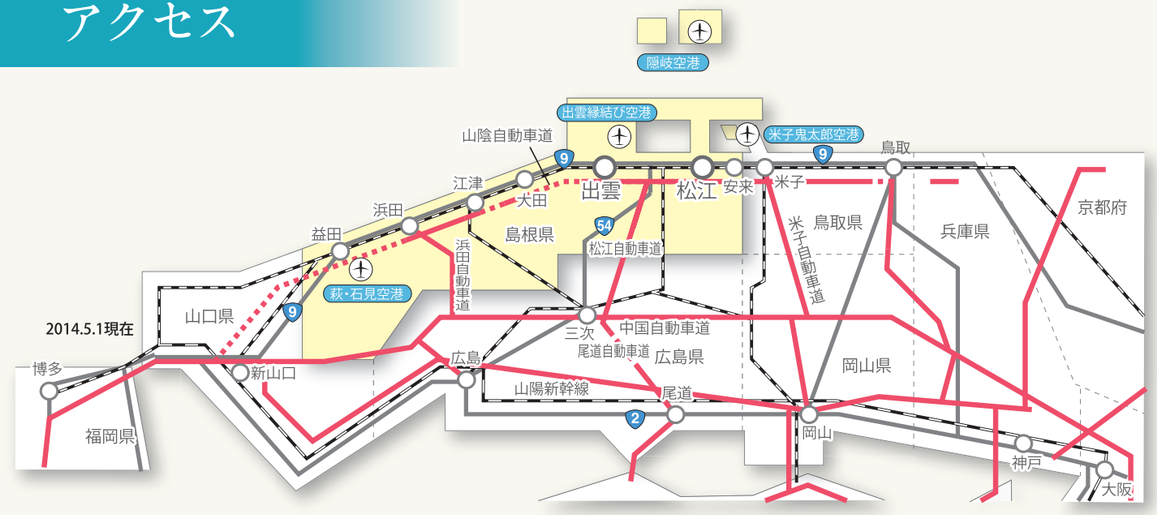
区　　分	土　地	建物 建面積	建物 延面積	備　　考
	㎡	㎡	㎡	
松江キャンパス(川津団地)	201,530	40,624	125,469	京田(駐車場)を含む
本部棟(松江)		704	2,789	
法文学部		1,921	7,631	法文学部校舎
教育学部		4,132	16,554	教育学部実験研究室棟
総合理工学部		6,952	34,541	総合理工学部１・２・３号館
生物資源科学部		5,047	22,342	生物資源科学部１・２・３号館
生物資源科学部附属施設		1,259	1,367	水利実験室、農業機械実験室、林産加工場、製材加工室、動物実験飼育室
光物性実験室		53	53	
動物飼育室		50	50	
教養講義室棟		1,301	4,292	教養講義室棟１・２号館
大学ホール		820	831	
保健管理センター		261	479	
汽水域研究センター		250	774	
遺伝子実験施設		515	1,514	
附属図書館		2,035	6,826	
総合情報処理センター		361	683	
ミュージアム		155	155	
古代出雲研究施設		65	130	
体育施設		4,863	5,293	第１・２体育館、トレーニングセンター、プール棟、武道場、弓道場
学生市民交流ハウス		130	75	
学生センター		782	1,400	
学生支援センター		345	656	
大学会館(松江)		877	2,166	
学生食堂		1,592	1,636	第１・２学生食堂
課外活動施設		515	1,976	
学生寄宿舎		2,237	7,466	
環境安全施設		180	180	
有機廃液焼却処理施設		93	93	
中央監視室棟		69	69	
特高受変電棟		168	336	
その他		2,892	3,112	倉庫及び雑建屋
附属学校キャンパス(大輪団地)	54,688	8,468	15,268	
教育学部附属幼稚園		748	912	園舎、物置器具置場
教育学部附属小学校		3,882	7,364	校舎、体育館
教育学部附属中学校		3,838	6,992	校舎、体育館
出雲キャンパス(塩冶団地)	222,625	41,258	129,860	
本部棟(出雲)		981	3,351	
講義棟		661	1,915	
実習棟		1,180	4,525	
基礎研究棟		631	4,997	
臨床研究棟		903	4,647	
看護学科棟		1,211	6,189	
共同研究棟		601	2,312	
第二研究棟		754	3,715	
第三研究棟		333	1,335	
第二共同研究棟		395	1,087	
第三共同研究棟		216	420	
第四共同研究棟		207	415	
チュートリアル教室		184	368	
臨床講義棟		884	1,434	
産学連携センター(出雲)		846	2,268	地域医学共同部門
RI・動物実験施設		1,201	3,944	
RI研究棟		193	428	
国際交流会館(出雲)		412	843	
附属図書館(出雲)		1,026	2,232	
体育館		1,315	1,175	
武道館		457	422	武道場、弓道場、弓道練習場
大学会館(出雲)		833	1,998	
医学部会館		451	586	
保育所		186	186	
看護師宿舎		984	4,007	
地域医療支援センター(みらい棟)		773	2,480	
附属病院棟		14,038	57,972	外来・中央診療棟、A・B・C病棟
高エネルギー診療棟		1,156	1,270	
MRI-CT装置棟		531	531	
病歴室		175	482	
立体駐車場		3,921	7,771	
中央機械室		1,923	2,567	
塵芥焼却炉室・発電機室		300	300	
廃水処理施設管理室		340	336	
RI排水処理施設		216	259	
特高変電棟		215	410	
その他		625	683	倉庫及び雑建屋
フィールド教育・研究キャンパス	5,990,145	6,724	8,374	
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター				
森林部門(三瓶・頓原・匹見・二ノ谷団地)	5,804,845	510	718	三瓶演習林、匹見演習林、三坂山演習林等
農業生産科学部門(本庄・神西団地)	180,713	5,320	6,150	本庄農場、神西農場
海洋生物科学部門(隠岐団地)	4,587	894	1,506	隠岐臨海実験所
その他の団地	15,281	1,891	2,786	
江島	3,124	410	377	汽水域研究センター中海分室
北陵	1,350	668	1,141	産学連携センター(松江)
菅田	3,182	435	830	国際交流会館(松江)
柴	4,864	74	74	第２運動場(テニスコート、自動車練習場)
朝酌	1,315	304	364	艇庫
南田町	557	0	0	
曲り田	889	0	0	駐車場

連絡先一覧

大学ホームページ http://www.shimane-u.ac.jp　E-mail:webinfo@office.shimane-u.ac.jp

		▶電話	▶E-mail
学部等	法文学部・人文社会科学研究科	0852-32-6113	lit-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	教育学部・教育学研究科	0852-32-6251	edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	附属教育支援センター	0852-32-9836	aces@edu.shimane-u.ac.jp
	附属教師教育研究センター	0852-32-6495	crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp
	附属 FD 戦略センター	0852-32-9850	
	附属幼稚園	0852-29-1120	sora@edu.shimane-u.ac.jp
	附属小学校	0852-29-1200	yaegumo@edu.shimane-u.ac.jp
	附属中学校	0852-29-1300	shimafu@edu.shimane-u.ac.jp
	医学部・医学系研究科	0853-20-2015	mga-somu@office.shimane-u.ac.jp
	医学部附属病院	0853-20-2061	mse-iryoshien@office.shimane-u.ac.jp
	総合理工学部・総合理工学研究科	0852-32-6095	sci-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	生物資源科学部・生物資源科学研究科	0852-32-6492	lif-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	附属生物資源教育研究センター	0852-34-0311	ercbr@life.shimane-u.ac.jp
	法務研究科	0852-32-9835	law-jimu@office.shimane-u.ac.jp
機構等	教育・学生支援機構		
	教学企画ＩＲ室	0852-32-9777	ir-staff@soc.shimane-u.ac.jp
	教育開発センター	0852-32-9860	cerd@soc.shimane-u.ac.jp
	外国語教育センター	0852-32-9837	epd-gaikoku@office.shimane-u.ac.jp
	生涯教育推進センター	0852-32-6408	ercll@edu.shimane-u.ac.jp
	入学センター	0852-32-6073	admissioncenter@office.shimane-u.ac.jp
	キャリアセンター	0852-32-6061	ssd-shushoku@office.shimane-u.ac.jp
	保健管理センター　松江キャンパス	0852-32-6568	
	出雲キャンパス	0853-20-2098	
	学生支援センター	0852-32-6330	
	研究機構		
	戦略的研究推進センター	0852-32-6056	kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp
	重点研究部門	0852-32-6056	kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp
	萌芽研究部門	0852-32-6056	kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp
	特別研究部門	0852-32-6056	kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp
	プロジェクトセンター	0852-32-6056	kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp
	汽水域研究センター	0852-32-6099	kisui@soc.shimane-u.ac.jp
	産学連携センター		
	地域産業共同研究部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
	知的財産創活部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
	連携企画推進部門（松江キャンパス）	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
	地域医学共同研究部門（出雲キャンパス）	0853-20-2912	cmrc@med.shimane-u.ac.jp
	総合科学研究支援センター		
	・松江キャンパス　遺伝子機能解析部門	0852-32-6109	idenshi@life.shimane-u.ac.jp
	RI 実験施設	0852-32-6109	
	物質機能分析部門	0852-32-6122	katsube@riko.shimane-u.ac.jp
	・出雲キャンパス　実験動物部門	0853-20-2362	kkawaka@med.shimane-u.ac.jp
	生体情報・ＲＩ実験部門	0853-20-2369	brcenter@med.shimane-u.ac.jp
	国際交流機構		
	国際交流センター	0852-32-9756	international@office.shimane-u.ac.jp
	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	0852-32-9735	ied-koryu@office.shimane-u.ac.jp
	学術情報機構		
	附属図書館　本館（松江キャンパス）	0852-32-6083	library@lib.shimane-u.ac.jp
	医学図書館（出雲キャンパス）	0853-20-2090	m-kanri@lib.shimane-u.ac.jp
	総合情報処理センター	0852-32-6091	center@ipc.shimane-u.ac.jp
	ミュージアム	0852-32-6496	museum@riko.shimane-u.ac.jp
	評価室	0852-32-6605	
	男女共同参画推進室	0852-32-9766	kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp
	広報室	0852-32-6603	webinfo@office.shimane-u.ac.jp
	地域課題学習支援センター	0852-32-9814	
	山陰法実務教育研究センター	0852-32-6426	houjitsu@jn.shimane-u.ac.jp
	広島オフィス	082-236-1926	su-hiroshima@jn.shimane-u.ac.jp
事務組織	監査室	0852-32-6026	aud-kansa@office.shimane-u.ac.jp
	総務部　総務課	0852-32-6603	gad-koho@office.shimane-u.ac.jp
	人事労務課	0852-32-6018	pld-romu@office.shimane-u.ac.jp
	財務部　財務課	0852-32-6023	fad-zaimu@office.shimane-u.ac.jp
	経理・調達課	0852-32-6027	apd-chotatsu@office.shimane-u.ac.jp
	施設企画課／施設整備課	0852-32-6044	fpd-msomu@office.shimane-u.ac.jp
	教育・学生支援部　教育・入試企画課	0852-32-6052	epd-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp
	学務課	0852-32-7029	sad-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp
	学生支援課	0852-32-6330	ssd-gakusei@office.shimane-u.ac.jp
	学術国際部　研究協力課	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	国際交流課	0852-32-6106	ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp
	情報企画課	0852-32-6248	ipd-joho@office.shimane-u.ac.jp
	図書情報課	0852-32-6083	library@lib.shimane-u.ac.jp

アクセス



松江キャンパス

空　路

東京（羽田）→出雲 ―― 約1時間20分
福岡→出雲 ―― 約1時間5分
大阪（伊丹）→出雲 ―― 約1時間
※出雲空港から空港連絡バス松江行（約30分）ＪＲ松江駅下車
東京（羽田）→米子 ―― 約1時間20分
※米子空港から空港連絡バス松江行（約45分）ＪＲ松江駅下車

ＪＲ

東京→岡山→松江 ―― 約6時間
福岡→岡山→松江 ―― 約4時間20分
大阪→岡山→松江 ―― 約3時間20分

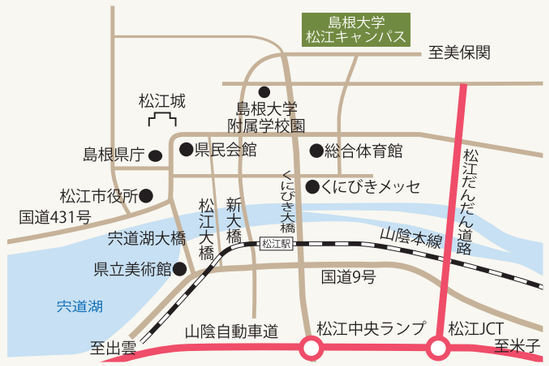
高速バス

東京（渋谷）→松江 ―― 約10時間25分
大阪（梅田）→松江 ―― 約4時間40分
岡山→松江 ―― 約3時間
広島→松江［特急便］ ―― 約3時間
福岡→松江 ―― 約10時間10分

JR松江駅より

市営バス
北循環線内回り　島根大学前下車 ―― 約15分
島根大学・川津行　島根大学前下車 ―― 約20分
※他に「平成ニュータウン」「あじさい団地」「東高校」等もあります。

一畑バス
美保関ターミナル行 島根大学前下車 ―― 約20分
マリンゲートしまね行 島根大学前下車 ―― 約20分



出雲キャンパス

空　路

東京（羽田）→出雲 ―― 約1時間20分
福岡→出雲 ―― 約1時間5分
大阪（伊丹）→出雲 ―― 約1時間
※出雲空港から空港連絡バス出雲市駅行（約25分）ＪＲ出雲市駅下車

ＪＲ

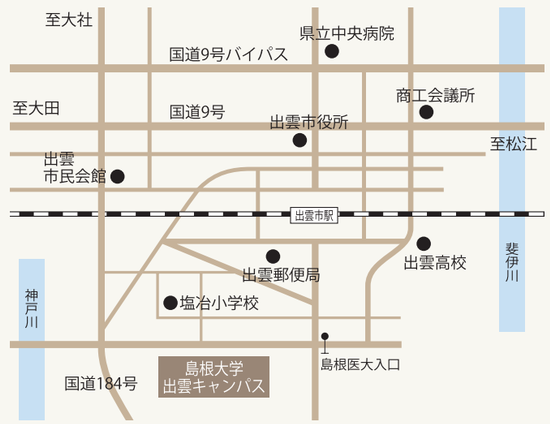
東京→岡山→出雲市 ―― 約6時間30分
福岡→岡山→出雲市 ―― 約4時間50分
大阪→岡山→出雲市 ―― 約3時間50分

高速バス

東京（渋谷）→出雲 ―― 約11時間20分
大阪（梅田）→出雲 ―― 約5時間35分
岡山→出雲 ―― 約4時間
広島→出雲［特急便］ ―― 約3時間
福岡→出雲 ―― 約9時間10分

JR出雲市駅より

一畑バス
出雲市駅・上塩冶車庫行　島根医大病院下車 ― 約10分
市内循環左まわり（150円バス）・上塩冶車庫行―島根医大入口下車―約5分
出雲須佐行　島根医大病院前下車(2番のりば) ― 約10分



国立大学法人 島根大学概要 2014-2015

人とともに 地域とともに

国立大学法人
島根大学

SHIMANE University

国立大学法人 島根大学概要
2014-2015

編集・発行／島根大学広報室（総務部総務課）
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 TEL.（0852）32-6100
http://www.shimane-u.ac.jp E-mail：webinfo@office.shimane-u.ac.jp

学　章　総合大学として飛躍し、発展する島根大学を日本海の青色のUで、
知性を愛し感性を育む学問の探究を茜色の扉を本で象徴しています。